

マルセン



令和2年度 マルセン17号

発行日／令和3年3月
発行所／公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団
所在地／〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町1丁目2番4号
電話／(086) 800-0077 ファックス／(086) 800-0055
URL <http://www.marusen-zaidan.or.jp/>

(本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています)



公益財団法人
マルセンスポーツ・文化振興財団



CONTENTS

ごあいさつ	2
財団法人の概要	3
役員・評議員名簿	6
令和2年度事業報告	7

I 公益事業

第1章 助成事業関係

1 スポーツ活動に対する助成	7
2 文化活動に対する助成	8

第2章 表彰事業関係

岡山県知事祝辞	10
---------	----

贈呈式	11
-----	----

1 マルセン栄誉大賞	12
2 マルセン大賞	12
3 マルセン特別賞	12
4 マルセン賞	12

受賞者からのひとこと

1 マルセンスポーツ大賞	渋野 日向子	14
2 マルセン文化特別賞	伊藤 宏恵	15
	花柳 大日翠	16
3 マルセンスポーツ賞	井狩 裕貴	17
	岡山県立井原高等学校男子新体操部	18
	岡山県立岡山工業高等学校男子弓道部	19
	就実高等学校女子バレーボール部	20
	前田 穂南	21
4 マルセン文化賞	松山踊り保存会	22
	村中 李衣	23

ホットコーナー 岡山の名門躍進	24
-----------------	----

若き音楽家たちの挑戦	26
------------	----

第3章 イベントの開催

1 スポーツ	28
2 文 化	28

第4章 広報啓発育成事業

1 啓発育成事業	29
2 協賛・後援事業	31

第5章 その他の事業	32
------------	----

II 財団の活動

法人管理

1 会議等	32
-------	----

お知らせ

マルセンスポーツ・文化活動助成事業について	34
-----------------------	----

助成事業申請書 記載例	35
-------------	----

資 料

事業の記録 助成 表彰 イベント・後援等	36
----------------------	----

令和元年度収支計算書	47
------------	----

貸借対照表	48
-------	----

表紙写真／右：渋野日向子氏（写真提供：共同通信社 / ゲットイイメージズ）
左上：伊藤宏恵氏、左下：花柳大日翠氏（写真は各受賞者提供）



当財団は、岡山県のスポーツ及び文化の振興発展と県民の皆さまが健康で豊かな心をもって生活できる環境・社会の実現を願ひ平成16年2月に財団法人を設立し、平成25年4月1日公益財団法人へ移行いたしました。岡山県を元気にとの願いから活動し続け、設立から17年目を迎えることができました。これも運営にあたりご協力をいただきました皆さま方のおかげと厚く御礼申し上げます。

本年度はスポーツ・文化活動に対する助成、表彰やスポーツ・文化活動に関するイベント開催、広報啓発活動及び後援・協賛事業の充実を図るため準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延のため緊急事態宣言が発出される事態となりました。

助成関係では21団体の方々に活動資金を助成決定いたしました。11団体が中止・延期を余儀なくされました。表彰関係ではスポーツ大賞に海外メジャー42年ぶりとなる快挙を成し遂げた渋野日向子選手、文化特別賞に音楽振興に尽力されドイツでご活躍の伊藤宏恵氏と舞踊の普及に貢献した花柳大日翠氏をはじめ3名4団体の方々を表彰すべく準備を進めて参りましたが新型コロナウイルスの影響を考慮し、規模を縮小して実施することになりました。イベント関係では、beyond2020のレガシーのもと準備を進めていたが参加者の健康を第一に考え、コロナの終息を待って実施することといたし、三密を防ぐことのできるチケットプレゼントを通じて岡山のスポーツ・文化の裾野を広げるため可能な限りプレゼントを実施してまいりました。

ご縁を大切にし、お力添えをいただきました皆さまに感謝いたしますと共に、今後も県民の皆さまのお役にたてますよう活動してまいりたいと考えております。

この度、今年度の活動記録といたしまして、「マルセン」第17号発刊の運びとなりました。どうぞご覧いただければ幸いに存じます。発刊にあたりご協力を賜りました関係各位に心より感謝申し上げます。

今後とも地域の皆様のスポーツ・文化活動に貢献できますよう、より一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月

公益財団法人マルセンススポーツ・文化振興財団
理事長 千原 多美子

財団法人の概要

I 概要

マルセンススポーツ・文化振興財団は、平成16年2月20日付けで岡山県教育委員会の許可を得て財団法人として設立されました。その後、国における公益法人制度の抜本改革として制定された公益法人制度改革に係る3法が平成18年6月2日に公布。平成20年12月1日施行。平成25年4月1日、公益財団法人として新たに歩み始めました。

当財団は、定款第3条に「岡山県のスポーツ・文化の振興発展を支援するとともに県民が健康で豊かな心を持って生活できる環境・社会の実現に寄与することを目的とする。」と規定し、その目的達成のため、次の5項目

- 1 スポーツ・文化活動に対する助成
 - 2 スポーツ・文化活動に対する表彰
 - 3 スポーツ・文化に関するイベントの開催
 - 4 スポーツ・文化に関する広報啓発育成事業
 - 5 その他目的を達成するために必要な事業
- を定め活動しております。

II 沿革（概要）

平成16年2月20日	財団設立
平成16年2月27日	事務所を岡山市富町二丁目4番4号に設置
平成16年3月26日	初代理事長に千原多美子就任
平成16年12月14日	第1回マルセンススポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成16年12月23日	第1回スポーツイベント協賛（第23回山陽女子ロードレース大会）
平成17年2月28日	晴れの国おかやま国体へ助成
平成17年3月10日	広報誌「マルセン創刊号」発刊（表紙 高橋秀氏「InAria『宙』」）
平成17年3月11日	第1回広報啓発育成事業（チケットプレゼント）実施（岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会）
～ 以下 抜粋 ～	
平成18年1月13日	財団のロゴマークの選考・決定
平成18年4月1日	公益法人指導監督担当課の変更により岡山県教育委員会から岡山県知事所管となる
平成18年8月4日	コミュニティライブラリーの設置（岡山市駅前・岡山会館1階） 「晴れの国おかやま国体写真展 あゝ感動をもう一度！」 表彰者紹介コーナー・映像コーナーの設置
平成18年11月3日	第1回文化イベント開催（川島 基ピアノリサイタル）
平成19年11月2日	第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア2007岡山」 「生涯学習見本市」に出展
平成20年3月8日	第1回スポーツイベント開催（少年サッカー教室（岡山湯郷ベル））
平成20年12月1日	新公益法人制度施行により「特例民法法人」となる
平成21年7月17日	事務所を岡山市北区駅前町一丁目2番4号へ移転
平成22年8月12日	新田佳浩氏（スポーツ大賞）表敬訪問
平成23年7月8日	新公益法人制度移行に伴う「最初の評議員の選任方法」の認可
平成23年7月26日	RSK ラジオ「おかやま元気応援団」放送開始（活動助成団体による活動状況）

平成 24 年 9 月 21 日	公益法人認定に向けて「移行認定申請書」提出（岡山県知事）
平成 25 年 3 月 8 日	岡山県公益認定等委員会から移行認定答申
平成 25 年 3 月 18 日	認定通知書（交付）
平成 25 年 4 月 1 日	公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団と改称
平成 25 年 6 月 26 日	定時理事会及び定時評議員会において 「収益事業の廃止及び定款の一部変更（案）」及び「定款変更申請」承認
平成 25 年 7 月 20 日	第 1 回岡山県文化のつどい開催「美作国建国 1300 年」（共催） ～津山洋学・知は海より来る～ 講師 白井洋輔氏・下山純正氏 同 2 回目 9 月 19 日「日本から始まった柔道文化」講師 古賀稔彦氏
平成 25 年 8 月 13 日	創立 10 周年記念展「表彰者色紙展及び自然と遊ぶ写真展」の開催（～18 日） （写真提供 監事 信朝 寛氏）
平成 25 年 9 月 12 日	岡山県老人福祉施設協議会へ「写真の贈呈」
平成 25 年 12 月 6 日	定款変更認定（収益事業廃止）
平成 26 年 6 月 4 日	ホームページをリニューアル
平成 26 年 9 月 15 日	財団新 CM 放映開始。
平成 27 年 8 月 10 日～11 日	高体連ソフトテニス専門部強化事業に講師派遣（職員：杉本瞳）
平成 28 年 6 月 3 日	マルセン文化教室「第 1 回井手康人の日本画教室」（社会人対象）開催 第 1 回井手康人の日本画教室参加者作品発表会開催（春の院展会場にて）
平成 28 年 9 月 29 日	第 71 回国民体育大会に千原多美子理事長・杉本瞳職員（ソフトテニス成年女子選手） を派遣（～10 月 4 日）
平成 29 年 7 月 10 日	おかやま COOLCHOICE! 宣言団体に承認
平成 29 年 10 月 28 日	マルセン文化教室「白井洋輔氏と共に関谷学校と津田永忠の事跡を巡る研修会」開催
平成 29 年 12 月 14 日	beyond2020 認証を受ける マルセン文化教室「平成 29 年度第 2 回（第 4 回）井手康人の日本画教室」開催（中 高校生対象）
平成 30 年 10 月 24 日	財団創立 15 周年新田佳浩氏・あさのあつこ氏記念講演会実施（さん太ホール）
平成 30 年 11 月 15 日	チケットプレゼント ベートーベン「第九」演奏会（岡山シンフォニーホール 12 月 9 日）
平成 30 年 12 月 22 日	再興第 103 回院展特別講座「親子日本画教室」＆マルセンスポーツ・文化振興財 団創立 15 周年記念事業「マルセン日本画教室（中高生対象）」実施（山陽新聞社）
平成 31 年 1 月 27 日	マルセンスポーツ教室「岡山リベッツ卓球教室」実施（岡山リベッツ卓球スポット岡山店）
平成 31 年 2 月 14 日	チケットプレゼント 倉敷音楽祭 人形浄瑠璃「文楽」（倉敷市芸文館 3 月 8 日）
令和 元 年 11 月 2 日	マルセン文化教室 大原美術館解説員に名画を学ぶ研修会（美術館本館他）
令和 2 年 1 月 22 日	第 8 回井手康人日本画教室参加者作品再展示（ICOTNICOT）～2 月 2 日まで
令和 2 年 3 月 23 日	定時第 2 回理事会開催 （次年度事業計画、予算、活動助成・協賛事業等承認、規程改正）※特に文化活 動に文化財補修等に係るものを新たに設けた
～令和 2 年度～	
令和 2 年 4 月 30 日	臨時第 1 回理事会開催（選考委員選任の件）
令和 2 年 5 月 20 日	令和元年度監査実施
令和 2 年 5 月 27 日	第 1 回選考委員会開催（第 17 回表彰等）
令和 2 年 6 月 4 日	定時第 1 回理事会開催
令和 2 年 6 月 22 日	定時評議員会（書面）（令和元年度事業報告及び収支決算の件）
令和 2 年 6 月 25 日	チケットプレゼント（第 75 回春の院展 倉敷展）50 名（井手康人氏寄贈 20 名分含む） 倉敷市立美術館
令和 2 年 8 月 11 日	第 2 回臨時選考委員会 （マイセン動物園展・森口祐子シニアゴルフ教室 in 岡山協賛の件）

令和 2 年 8 月 26 日	臨時第 2 回理事会（マイセン動物園展・森口祐子シニアゴルフ教室 in 岡山協賛の件）
令和 2 年 10 月 8 日	チケットプレゼント（The 備前）50 名 県立美術館 （白馬のゆくえ近代日本洋画の黎明）20 名 成羽美術館
令和 2 年 10 月 15 日	第 17 回マルセン賞表彰式挙行
令和 2 年 10 月 22 日	チケットプレゼント（第 67 回日本伝統工芸展岡山展）50 名 県立美術館
令和 2 年 11 月 9 日	「おかやま元気応援団! 2020」（助成団体活動報告）RSK ラジオ放送 ～令和 2 年 11 月 19 日まで
令和 2 年 11 月 12 日	チケットプレゼント（マイセン動物園展）100 名 県立美術館
令和 2 年 11 月 16 日	令和 3 年度活動助成金応募受付開始（令和 3 年 1 月 20 日まで）
令和 2 年 11 月 19 日	チケットプレゼント（岡山フィルハーモニック管弦楽団特別演奏会）30 名 岡山シンフォニーホール
令和 2 年 11 月 26 日	チケットプレゼント（ホキ美術館名品展）50 名 県立美術館
令和 2 年 12 月 4 日	第 3 回臨時選考委員会（おかやま歴史文化伝承委員会） 「誰も知っているのに、誰も知らない岡山の文化 ライブトークセッション 2021」
令和 2 年 12 月 10 日	チケットプレゼント（再興第 105 回日本美術院展覧会）150 名 天満屋岡山店
令和 2 年 12 月 14 日	臨時第 3 回理事会（おかやま歴史文化伝承委員会） 「誰も知っているのに、誰も知らない岡山の文化 ライブトークセッション 2021」
令和 2 年 12 月 17 日	チケットプレゼント（岡山フィルハーモニック管弦楽団ニューイヤーコンサート） 30 名 岡山シンフォニーホール
令和 2 年 12 月 22 日	チケットプレゼント（岡山シーガルズ最終戦）各 15 名（60 名）ジップアリーナ 1/9 NEC レッドロケッツ 1/10 日立リヴァーレ ※新型コロナウイルス感染拡大のため開催中止（1/9-10） 1/16 東レアローズ 1/17 PFU ブルーキャッツ
令和 3 年 1 月 7 日	チケットプレゼント（天神日舞）20 名 能楽堂ホール tenjin9（山陽放送新社屋）
令和 3 年 1 月 14 日	チケットプレゼント（～世界に向けて～岡山の情景を音楽で語る旅）20 名 岡山シンフォニーホール
令和 3 年 2 月 4 日	チケットプレゼント（雪舟と玉堂ふたりの里唄り）50 名 県立美術館
令和 3 年 2 月 8 日	第 4 回選考委員会開催（令和 3 年度活動助成金選考等）
令和 3 年 3 月 15 日	第 5 回選考委員会開催（「ヨーロッパ絵画 400 年の旅」名義後援）
令和 3 年 3 月 16 日	定時第 2 回理事会開催（次年度事業計画、収入予算承認の件等）
令和 3 年 3 月 24 日	臨時第 1 回評議員会（書面）開催（次年度事業計画、収支予算承認の件等）
令和 3 年 3 月 吉日	広報誌「マルセン」17 号発刊

役員・評議員名簿

令和3年3月31日現在

理 事			
役 職 名		氏 名	
理 事 長		千 原 多美子	
常務理事		千 原 秀 則	
理 事		加 計 孝太郎	
〃		川 崎 誠 治	
〃		越 宗 孝 昌	
〃		吉 岡 洋 介	
		所属・役職名	
		(株)成通 取締役	
		(株)センインターナショナル 代表取締役社長	
		(学)加計学園 理事長	
		(学)川崎学園 理事長	
		(株)山陽新聞社 相談役	
		(公財)ワコーススポーツ・文化振興財団 理事長	
		役職別 五十音順 敬称略	

監 事			
役 職 名		氏 名	
監 事		衣笠 和孜	
〃		小林 彬二	
		所属・役職名	
		岡山療護センター センター長	
		元岡山県美作県民局長(現岡山放送特別参与)	
		五十音順 敬称略	

評議員			
役 職 名		氏 名	
評 議 員		石 井 正 人	
〃		桑 田 茂	
〃		塩 飽 哲 文	
〃		千 原 行 喜	
〃		土 井 雅 人	
〃		中 川 弘 之	
〃		中 静 敬一郎	
〃		平 松 掟	
〃		藤 田 土 義	
〃		三 木 栄	
		所属・役職名	
		岡山ネットワーク(株) 代表取締役社長	
		RSKホールディングス(株) 代表取締役社長	
		岡山エフエム放送(株) 代表取締役社長	
		(株)成通 代表取締役社長	
		テレビせとうち(株) 代表取締役社長	
		西日本放送(株) 岡山本社中国総支社 支社長	
		岡山放送(株) 代表取締役社長	
		平松掟法律事務所(元日本弁護士連合会副会長)	
		(株)成通 相談役	
		(株)瀬戸内海放送 取締役執行役員岡山本社代表	
		五十音順 敬称略	

顧 問			
役 職 名		氏 名	
顧 問		伊 東 香 織	
〃		大 森 雅 夫	
〃		田 中 建 治	
		所属・役職名	
		倉敷市長	
		岡山市長	
		前財団事務局長	
		五十音順 敬称略	

令和2年度 事業報告

(I)公益事業

第1章 助成事業関係

岡山県内において、スポーツ・文化の振興及び発展に寄与するため下記の諸事業に助成を行いました。

1 スポーツ活動に対する助成(応募数/15件 採用件数/9件内中止2件・延期4件)

番号	団体名	活動名	活動目的(内容)
1	新見市体育協会	第70回四国四都市総合体育大会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止
2	岡山オープンバドミントン大会実行委員会	第17回オープンバドミントン大会 女子	新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ事業延期
3	御南学区体育協会バドミントン部	親子バドミントン体験教室及び親睦大会	昨年11月にマルセススポーツ・文化財団の活動助成事業の募集に応募、3月に決定を受けてからコロナ禍の中、2か月余りの休止期間が明け、コロナ対策(三密及び手洗いとマスクの着用)に留意し、5月30日から活動再開となりましたが、待望のオリンピックも1年延期となり親睦選手等の活躍を見えた後の「親子バドミントン教室」を延期していましたが、予定通りコロナ禍の厳格な中で教室の開催を決め、準備を進めました。会場はコート(平素は2コート)を使用することで、その対応と教室に参加する親子のラケット等の手配、参加者募集のチラシの作成、御南学区には6町内があり全戸回覧を依頼し、公民館の掲示板や小学校の学童保育施設も訪問し、参加を勧めました。しかしながら実際は、コロナの影響を恐れてか、反応が少ない中10組の応募をいただきました。親子バドミントン教室では、当日講師の指導の下に水泳のシャトルに苦戦しながら次第に当たるようになり、講師二人の模範打のスピードに驚きながらも、ゲームでは、上手に当たって、空振りしながら楽しんでいました。親睦大会では、何時もは、シャトルを大切に使い、少々のはしゃぎは我慢して練習や試合をしていましたが、今回は、気兼ねなく打ち合っており、コロナ禍の中、楽しい一時を過ごすことが出来ました。
4	NPO 法人岡山県自閉症児を育てる会	令和2年度 自閉症児のための水泳教室	自閉症を理由に、「危険だから」「責任がとれない」と地元のスイミングクラブから入会を断られた親子のために、「それなら自分たちで水泳教室を作ろう」と、第1回の「自閉症児のための水泳教室」を開催したのが平成10年です。それから、もう22年前になります。令和3年1月の教室が数えて235回目の水泳教室です。その間、参加者の入れ替わりは毎年ありましたが、いつもプールには子どもたちの歓声と笑顔があふれています。自閉症児はコミュニケーションや社会性を苦手とし、また環境の変化にも弱いので、学校のプールでも本来は個別の配慮が必要となります。しかし、知的に遅れれば普通学級に通う子どもたちにとっては、自閉症という障害が理解されないためか、いさなりシャワーを浴びせられたり、プールに無理矢理入れられたり、と水を怖がるようになってしまった子どももいます。私たちの「自閉症児のための水泳教室」では、障害に理解のあるコーチやボランティアの指導により、「水慣れ」から始めて、無理のないよう水泳を楽しむように心がけています。ただ、私たち余暇活動として行っている他行事「サッカークラブ」「山登りの会」「キッズルーム(岡山大学体育館を借りて、学生さんたちと遊ぶ活動)」などと違って、子どもたちに安心して水泳を楽しんでもらえるよう、民間プールを貸し切りで行う水泳教室は、どうしても費用が高額です。障害のある子どもを育てるため共働きでできないご家庭や、療育のための費用もかかるため、参加費も高額にはしたくないと思っていたところ、幸いにも貴財団より助成をいただけることになり、令和2年度も月1回(コロナの影響で4月、5月の2回は、残念ながら中止になりましたが)水泳教室を開くことができました。ありがとうございました。
5	岡山商科大学附属高等学校剣道部	第4回井尻杯中学校剣道大会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ事業延期
6	中庄学区ソフトボール大会実行委員会	中庄学区マラソンソフトボール第25回記念大会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ事業延期
7	岡山県立玉野光南高等学校	小高連携事業(バレーボール種目体験会・陸上競技等)	本校体育科の授業であるスポーツⅡとスポーツ総合演習において、異年齢との交流および指導を通じて社会におけるスポーツを通じた貢献を進めています。今年度は、障害者スポーツを指導することにより、オリンピックバレーボールの興味関心と理解を深めるとともに、障害者の方々の理解と思いやりの心を育てることを目的とし実施いたしました。新型コロナウイルスによる休校明けから、クラス毎に役割分担、計画立案を行い準備を進めました。8月には、オリンピックバレーボールの講演会やゴールボールの講習会を実施、小学生に指導する上で必要となる、様々なスキルを身につけるとともに障害者スポーツをより身近に感じることができました。12月の本番に向けて、各クラスごとのデモ授業や小中学校に出向いてのプレゼンテーションなどを行いました。本番では、新型コロナウイルスの感染防止を徹底したうえで、高校生全員が積極的に児童にかかわり取り組むことができました。目的であったオリンピックバレーボールの興味関心を持たせることは勿論、障害者スポーツを通じて、障害者の方々の理解や思いやりを感じてくれる事業となりました。
8	ローラースキーがみの実行委員会	第15回ローラースキーがみの大会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止
9	レインボーメイト津山	「視覚障害者の登山会とサボートの仕方」現地講習会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ事業延期

(各団体活動報告から)

2文化活動に対する助成 (応募数 / 37 件 採用件数 / 12 件内延期 6 件)

番号	団体名	活動名	活動目的 (内容)
1	足次山神社総代会	令和2年春季大祭「郷社まつりの巫女舞」	当神社の巫女舞は、県指定重要無形民俗文化財「糸崎八幡神社・中山天神社の神事」の巫女舞の伝統を引き継ぎ、既に20年以上舞い継がれており、「鈴の舞」「盾の舞」と古式にのっとった気品の高い舞です。毎年4月4日に執り行われる「郷社まつり」に地域の少女たちにより奉納され、満員の観客のもと盛況な舞は多くの参拝客を集めています。幸い少女たちの巫女への参加希望は多く、今後は練習風景や巫女舞のDVDを作成し、伝承と積極的な広報活動に役立てたいと思います。
2	森忠政公報恩会・鞍懸貞二郎研究会	「再考津山藩士鞍懸貞二郎」記念誌発刊事業	森忠政公報恩会は森公の顕彰と美作地域の発展に資するために設立され、令和2年が鞍懸貞二郎没後150回忌にあたり、顕彰するための記念誌発刊等記念事業を行うこととなり森忠政公報恩会に鞍懸貞二郎研究会を設置しました。鞍懸貞二郎は幕末から明治にかけて津山藩外交の中心的人物として活躍し、津山藩の難題解決へ献身しました。歴史に埋もれた津山藩士・鞍懸貞二郎の足跡の概要と史料をわかりやすくまとめ、後世に伝え明日の郷土づくりへの一助とし、記念誌は郷土史の学習のため、学校、図書館、公民館等に無償で配布を予定しています。また、鞍懸貞二郎研究会（以下研究会）ではこれまで、史料の収集、現地調査、8回にわたる研究会を前記約146頁の冊子としてまとめましたが、コロナ禍により、編集・校正が大幅に遅れ現在最終校正を行っています。したがって、製本完成は2月末を目途としています。令和2年9月27日予定していた、森忠政公報恩会はコロナ禍により延期を余儀なくされ、鞍懸貞二郎150回忌記念式等行事は令和3年の秋にコロナ禍の状況を見ながら予定されることとなりました。マルセン財団からの助成については記念誌への掲載とともに、記念式行事において公表謝意を表する予定としています。
3	真備こども将棋教室	真備こども将棋教室	真備公民館にて毎月第2、第4土曜日の9時から11時までを原則として、近在の主に将棋に興味のある小学生を集め、将棋の大好きな講師による指導をお願いして活動を行っています。将棋を通じて考える力を養い、礼儀を学び、交流範囲を広げ、子供たちの健全な育成を図ることを目的としています。今年度はコロナ禍で4月、5月は公民館の閉鎖で、6月、8月は自主的に活動停止致しましたがそれ以外は活発に将棋教室を開催できました。会員も活動開始前の募集活動により、14名の会員が集まり活性化できました。貴財団の助成金により解説用大判将棋盤等の購入により、会員を初級、中級のクラス分けにして、会費のレベルに合致した指導が出来る、将棋力の向上が出来ました。岡山県こども将棋教室交流戦への参加やグループ内での将棋大会の開催をすることが出来ました。
4	NPO法人倉敷ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ	NPO 法人倉敷ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ 第35回記念定期演奏会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ事業延期
5	白石奨会	高校生による白石踊継承活動	新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ事業延期
6	玉野フィルハーモニー管弦楽団	第25回定期演奏会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ事業延期
7	公益財団法人科学振興仁科財団	仁科芳雄博士顕彰 第28回ロボットコンテスト2020	新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ事業延期
8	矢掛町囲碁の会	国際囲碁交流会 in 矢掛	新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ事業延期
9	つやま演劇教育研究会	環境劇の上演ならびに環境番組製作を介した教育活動	小型家電回収事業のPRを行うためテレビ津山と連携し、小型家電回収事業のPRを目的とした番組「エコのいち3R」を5月31日に撮影、9月3日から1ヶ月にわたりテレビ津山において放送を行いました。撮影に先立っては地元元の公民館で三密に配慮しながら2ヶ月にわたり練習を重ねました。練習の様子・撮影の様子はテレビ津山に取材され、放送されております。さらに放送終了後、番組はDVD化し、津山市教育委員会を介して津山市下の小中学校に配布し、教育効果の拡大を図りました。 しかし、コロナウイルス感染対策の観点から6月の親子エコフェスタなど当初予定していた環境啓蒙劇上演の場は軒並み中止となりましたが、国の緊急事態宣言解除後に赤磐市のドイツの森において10月31日に環境劇「JA森のシンフォニー」を上演することが出来ました。貴財団から助成を受けた旨はテレビ番組宣伝のためのポスターおよびチラシに掲載、さらに放送時のエンディングに記載しました。また、放送後配布した番組DVDにも貴財団から助成を受けた旨を表記しております。 今年度の活動のうち、テレビ津山で放送、その後DVD化し津山市下の小中学校に配布したDVD配布により、浸透しているとは言いがたい「津山市COOL CHOICE宣言」の周知・理解が図れました。また、これまで津山市民に浸透しているとは言いがたかった津山市内の小型家電回収ボックスの設置場所を市民に対して広く知らせ、回収量増加につなげることが出来ました。また1回のみ公演となりましたが、10月31日に赤磐市で開催されたハロウィンナイトにおいて上演した環境劇では地産地消推進によるフードマイレージの圧縮と二酸化炭素削減に関する周知と理解を深めることが出来ました。演劇の上演においてはコロナウイルスを始めとし、感染拡大予防の配慮が重要になります。今年度は環境イベントのほとんどが中止となりましたが、オンライン配信などイベントの有無に関わらず、今後は情報発信する手段を講じる必要があると考えます。

番号	団体名	活動名	活動目的 (内容)
10	インタラクティブ映像倶楽部	関谷学校プロジェクト	創学350年を迎える関谷学校の歴史を振り返り、子供たちや市民とのコラボで、未来へとつなぐアートプロジェクトです。歴史・現在・未来と3つのパートで構成しました。現在のパートでは、学園の木として関谷学校の象徴的な桜の木の実っぱのイメージを募集し、応募作品を元に1枚の葉から大木に成長する過程を、アニメーション映像で表現しました。募集作品は、2歳から80代までの幅広い層から応募いただきました。水彩画や、ペン画、刺繍やペーパークラフトに備前焼とバリエーション豊かな作品が揃いました。応募作品の展示を新しくなった備前市役所の多目的ホールで9月15日から29日まで行いました。来場者から、関谷学校のイメージが変わった、来年もやって欲しい、という意見が多く届きました。 未来のパートでは、募集した未来へのメッセージを元に制作いたしました。当日の来場者からスマートフォンを活用し、リアルタイムで画像を取り込み、作りこんだ映像とミックスした、一期一会となるプロジェクションマッピングを体験していただきました。10月10日は台風の接近により11日に順延されましたが、予想を上回る550名の来場者で賑わいました。貴財団からの助成金により、映像の完成度を上げることができ、広報もより広く周知することができました。また、今年初めてコロナ対策として、入場者の検温、消毒、会場内では2メートルの間隔を空け、パイプ椅子は人が入れ替わるたびに除菌作業を行いました。備前市や関谷学校の職員の方々の協力により、事故もなく無事終了いたしました。来場者から、コロナイベントが中止になることが多く久しぶりに見たアートイベントに癒され、アートは生活に必要なものだと感じたという言葉をいただきました。
11	津口市総合文化祭実行委員会	第15回 あさくち文化祭	新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ事業延期
12	倉敷市真備創作舞台育成事業実行委員会 マービーミュージカル in 倉敷	マービーステージフェスティバル・復興ミュージカルプレ公演企画「マービー・プレフェス TSUDOU ～次へ行く為に私達は忘れない～」	2000 年より真備地区で市民参加の創作ミュージカルを定期的に上演し、地域内外に舞台芸術の素晴らしさと真備地区の良さや郷土の歴史などを伝える事により、地域の活性化と文化振興を促進する活動を続けています。 今年度当初も、マービーミュージカルをメインとし2022年度復活予定の真備市民文化祭とマービーミュージカル公演への盛り上がりともなる文化祭「マービー・プレフェス TSUDOU」～次へ行く為に私達は忘れない～の企画を進行していましたが、先の新型コロナウイルス爆発的な蔓延、なおかつ感染予防の観点からの施設使用制限、予防対策に伴い、私たちが一般参加公募者募集も延期とし、全体的なスケジュールリングの見直しを余儀なくされました。 そのため、7月までは打ち合わせ、参加者のワークショップを開催していましたが、新しい生活様式の中、コロナの予防を銘記、開催形式、特にマービーミュージカル・プレ公演は発表の方法を再検討、同じく開催予定していた各文化団体とのマービーフェスティバルについては、舞台での観覧中心の企画ではなく、ユーチューブ等のネット配信の手法へと変更しました。 昨年12月には、10数団体の参加の依頼を行い調整中であつたところ年末の感染再激増を受けて、公民館での活動制限が再び強化、再度参加団体の確認と選定のし直しを行っています。また今回からの新しい企画である「災害を忘れない語り部大会」に関しては参加人数を限定しネットでの配信として準備中です。※配信においても状況においてアーカイブ配信として展開することも視野に入れています。

(各団体活動報告から)

第2章 表彰事業関係

岡山県知事 伊原本隆太
お祝いのことば

第17回マルセンスポーツ・文化賞表彰式が開催されますことを心からお喜び申し上げます。

このたび、栄えある第17回マルセンスポーツ・文化賞を受賞された個人・団体の皆さま、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。日々のたゆまぬご努力によりスポーツ・文化活動に取り組まれ、それぞれの分野で顕著な功績を挙げられましたことは、岡山県のスポーツ・文化の発展につながるものであります。県を代表して改めて感謝申し上げます。



今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多数の大会やイベントなどが中止や延期となるだけでなく、日々の活動も制限を受けるなど、多くの方々に大変なご苦労があったと拝察します。このような中、このたびの表彰は受賞者の方々のみならず、困難と対峙し懸命に努力と精進を重ねておられる皆さまに対して明るいニュースとなり、大きな励みになるものと確信します。

これからも皆さまには、新型コロナウイルス感染症の逆境に届することのないよう、これまで以上に日々の活動に打ち込んでいただき、岡山県のスポーツ・文化を盛り上げていただきますようお願い申し上げます。

本県では、「生き活き岡山」の実現を目指し、関係団体との連携も大切に



贈呈式

と き：令和2年10月15日 午前11時より

ところ：ホテルグランヴィア岡山「クリスタル」

式次第：1 開 式
2 あいさつ
3 表彰盾贈呈
4 受賞者あいさつ
5 閉 式

DATA●資料

貸借対照表 (令和2年3月31日現在)

団のご発展、また、本顕彰および助成事業が実り多き成果を収められることを祈念し、お祝いのことばとさせていただきます。



(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流 動 資 産			
現金預金	2,737,774	2,486,012	251,762
前払金	0	0	0
貯蔵品	0	0	0
未収金	49,740	49,781	△ 41

第2章 表彰事業関係

① マルセン栄誉大賞

令和元年度スポーツ・文化活動において、大賞受賞者で、更なる功績をあげた者。

【マルセン栄誉大賞】

該当者なし

② マルセン大賞

令和元年度における国際大会・全国大会等において、著しく活躍された個人・団体又はスポーツの振興に多大な功績のあった者。文化の振興に著しく貢献した個人又は団体。

【マルセンスポーツ大賞】

- 渋谷 日向子 【球技(ゴルフ)】
 - 学生時代から持ち前の運動能力で主要メンバーとして活躍していた。プロ転向後は、令和元年5月開催の「ワールドレディスチャンピオンシップサロニバスカップ」において20歳178日当時大会最年少で初優勝を果たすとともに多くの大会で好成績を残した。中でもAIG 全英女子オープンを初挑戦で優勝し、海外メジャー42年ぶりとなる快挙を成し遂げられ県民に感動と喜びを与えた。

【マルセン文化大賞】

該当者なし

③ マルセン特別賞

令和元年度における国際大会・全国大会等において特に優秀な成績を収めた個人、団体又はスポーツの振興に相当な功績があった者。文化の振興に特に貢献した個人又は団体。

【マルセン文化特別賞】

- 伊藤 宏恵 【音楽(声楽 メソソプラノ)】
 - 高校生の頃から山陽学生音楽コンクール声楽部門1位、NHK洋楽オーディションに合格するなど才能と努力により成果を上げている。平成9年には国際親善奨学生として渡独し、ドイツを拠点にキャリアを積み、海外の国際コンクールにおいて上位成績を収めている。また、毎年夏期には帰国しコンサートを実施し鑑賞の機会を与え地域振興にも努力している。
- 花柳 大日翠 【伝統芸能(日本舞踊)】
 - 幼少時から舞踊家の母に学び、平成13年、17歳で花柳流名取を修得。人間国宝(故)花柳寿南海に入門し、古典舞踊の精髓を学び、若手舞踊家の登竜門である新春舞踊大会賞を連続受賞するなど、斯界の注目を集め期待されている。一方、地元岡山大学やお茶の水大学で教壇に立つほか、各地でのレクチャー、ワークショップを通して、日本舞踊の魅力を伝えている。また、軽妙な創作舞踊の地方公演や海外公演を積極的に展開し日本舞踊にとどまらず、伝統文化の幅広い普及啓発に貢献しており、今後の活躍に期待するところ大であり、県民の誇りである。

④ マルセン賞

令和元年度における国際大会・全国大会等において優秀な成績を収めた個人、団体又はスポーツの振興に功績のあった者。文化活動において、文化の振興に貢献した個人又は団体。

【マルセンスポーツ賞】

- 井狩 裕貴 【水泳(競泳 個人メドレー)】
 - イタリア・ナポリで行われた第30回ユニバーシアード大会競泳競技男子400m個人メドレーで世界選手権の派遣標準記録IIを突破する4分12秒54と自己ベストを1秒上回るタイムを記録し優勝した。この結果はオリンピック出場をも期待させ、県民に感動を与えた。

● 岡山県立井原高等学校男子新体操部 【体操(新体操)】

- 岡山国体を機に発足した男子新体操部は、地元井原市の強力なサポートのもと全国高校総合体育大会において3年ぶり5回目の優勝を果たした。この活躍は在校生・同窓生・地元のみならず県民の誇りである。男子新体操部がジュニアからシニアまでの架け橋となっており地元の地域振興への貢献は大である。

● 岡山県立岡山工業高等学校男子弓道部 【射的(弓道)】

- 同部は長年岡山県の高校弓道を牽引するチームであり、多くの功績を挙げている。また、国民体育大会の代表選手を長年に渡り安定的に輩出しており、一般・高校生両方からの信頼も厚い。そういった中で令和元年度の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)優勝は、岡山県勢として初となる快挙であり、在校生・同窓生のみならず、多くの高校生及び県民に夢と希望を与えた。

● 就実高等学校女子バレーボール部 【球技(バレーボール)】

- 同部は岡山県高等学校において強豪校といわれ、選抜大会2回、国体1回及び全国高等学校総合体育大会(インターハイ)3回の優勝を果たしている。特にインターハイでは、昭和・平成・令和と三つの元号のもとで日本一に輝いたことは、在校生・同窓生のみならず、県民に感動を与えるとともに将来への期待をもたらしした。

● 前田 穂南 【陸上競技(長距離)】

- 中学・高校時代は、陸上競技(中距離)選手として活躍していた。実業団入りし平成29年大阪国際女子マラソンでマラソンデビューし、良き監督・先輩に恵まれ、年々実力をつけ令和元年に行われたマラソングランドチャンピオンシップ兼東京2020オリンピック日本代表選考競技会において、積極果敢に攻め完全独走の2位に4分近い大差をつけ2時間25分15秒で優勝し、日本代表に内定した。この活躍は、同僚のみならず、県民に感動と将来への希望をもたらしした。

【マルセン文化賞】

● 松山踊り保存会 【伝統芸能(無形民俗文化財)】

- 松山踊りは、江戸時代前期から備中松山藩の城下町において伝承されており、「備中たかはし松山踊り」は県下最大規模のイベントである。同保存会は、県指定に際してそれ以前から活動していた松山踊り保存会、仕組踊り保存会、踊りフレンズを統合する団体で、歌・太鼓・三味線により踊りの音頭を取る音頭員の認定、踊りの講習会の開催など松山踊りの保存や後継者育成に尽力している。また、県内外のイベントでの公演を通じて魅力を発信するなど地域文化の振興・啓発活動に顕著である。

● 村中 李衣 【文芸(小説・物語)】

- 児童文学者として、令和元年6月に発行した「あらのはたけ」の主人公は横浜から山口に引っ越した小学4年の少女エリで「山や畑で日々起こる出来事に泣いたり笑ったりしながら、踏まれても黙々と生きる雑草や生き物たちの様子を横濱に暮らす親友エミとの交流を往復書簡の形でつづり、自然の不思議や友達のいじめのことなど子どもたちの心の動きを繊細に描いた作品で審査員から「読者の心に栄養を送り込んでくれる滋養強壮童話だ」と評された作品を執筆し文化の向上に資し、功績は大である。



受賞者からのひとこと

マルセンスポーツ大賞 球技(ゴルフ)・渋野 日向子



マルセンスポーツ大賞 受賞にあたって

この度は、マルセンスポーツ大賞に選出いただきありがとうございます。
また、いつも温かいご支援とご声援をいただきありがとうございます。
10歳からゴルフを始めて、地元の方々の温かなサポートをいただけた
おかげで、今に至ることができています。

地元で積ませていただいた経験は、プロ転向後の2019年国内メ
ジャー初優勝、そしてAIG全英女子オープンでの優勝につながったと感
じています。

2020年は新型コロナウイルスの影響で開幕が遅れ、なかなか思うよう
なゴルフが出来ず、苦しい日々が続きました。その中でどうしたら変われ
るのか自分自身で考えるようになり、過去に戻りたいという気持ちから、ま
た作り上げていくという気持ちに変わったことによって、今まで以上にゴ
ルフに対して前向きに成長出来た1年になったと思っています。

2021年は米国ツアーで戦うためにスポットで出場させていただき試合
で成績を残しながら、自分自身を一步步成長させていけるように頑
張っていききたいと思います。

これからも、ジュニア、地元の方々に夢と希望を与えられるように精一
杯頑張っていきます。

今はコロナ禍で皆さまと交流できない日々が続いておりますが、この状
況が落ち着いた時にまた皆さまと笑顔でお会いできる日を心より楽しみに
しています。

引き続き、ご支援、ご声援の程、よろしくお願い致します。



写真提供：ゲッティイメージズ

マルセン文化特別賞 音楽(声楽 メゾソプラノ)・伊藤 宏恵



活きた音楽

この度、マルセン文化特別賞を受賞させていただきました事が、私の
音楽人生に励みとなり、さらなる歩みを進めていく力を与えてくださいま
した事に心より感謝申し上げます。

子供の頃から歌う事が大好きで、小学2年生の時、学級担任の先生の
勧めで合唱団に入団した事が、歌うことへの第一歩でした。高校受験が
機となり“声楽”という未知なる世界の扉を開き、大学時代に会ったドイ
ツ芸術歌曲の研究を通じ、音楽の泉への好奇心をさらに強くする事となり
ました。1997年に渡独し、日本とは全く違う文化、風土、習慣、言葉、あらゆ
る体験が『歌うこと』への栄養であり、刺激でした。そして2005年、ヴェルツ
ブルグ・マインフランケン歌劇場との契約を結んで以来、オペラ歌手とし
てその舞台に立ち続けております。

しかし今年2020年3月中旬、‘当たり前’の日常は、新型コロナウイルス
感染懸念により突然、演奏環境が八方塞がりとなる状況へと一転しまし
た。歌劇場ではワーグナー作曲・楽劇『ラインの黄金』の稽古が佳境に入り、
ラインの乙女を歌える事に胸を躍らせておりましたが、その喜びと共に3
日後の初日を迎える事は出来ませんでした。

現在、演奏のあり方は感染対策が施されながら、様々な方法で試行錯
誤されております。6月下旬、小規模の演奏活動がようやく許された時、歌
声は凍結状態が緩和される瞬間を長く待ち焦がれた歓喜で一杯でした。
楽譜に託されたメッセージが音に蘇り、聴衆のある空間で声に重なり響き
合い、心に届けられる“活きた音楽”との再会は、音楽がいつの時代にも
私たちの生活に息づく光景であり、その理由に思いを新たにすると
なりました。

この度の受賞にあたり応援くださる方々の支えを有り難く感じると共に、
今までの歩みの上にこれからも許される限り音楽道に進んでいく勇気
をいただきました事に再度感謝し、岡山とヨーロッパを繋ぐ文化振興の一
部分であり続けられますよう努めてまいりたいと思います。



ワーグナー作曲 楽劇『神々の黄昏』第3幕の一場面
ラインの乙女：水の精の三人娘（右：伊藤宏恵）



ハロク音楽コンサート風景

マルセン文化特別賞 伝統芸能(日本舞踊)・花柳 大日翠(本名:黒住 倫代)



受賞によせて

この度は、賞を授けていただき有り難く存じました。日々お世話になっている方々が、受賞をととても喜んでくださって、心から嬉しく、幸せに存じました。

日本舞踊は、日本古代からの先行芸能の要素を取り入れ、江戸時代に生まれ、現代まで400年近い歴史を経て受け継ぎ、育まれてきた伝統芸能です。

古典作品では、その作品が出来た時代の人たちの暮らしや気持ちを、踊りを通して感じられ、先人の美意識を今の私に伝えてくれます。それは、それぞれの時代を生きてきた先人の言葉では伝えきれない魂の発露でもあると思います。

私は日本舞踊を一言で表すと、日本の素敵なのがたくさんつまった踊りだと思っています。日本特有の春夏秋冬の中の自然、動物、人間や感情など、身近なありとあらゆるものを、音楽に乗せて、大きく美しく踊っています。

歌舞伎のように派手なメイクと衣装をして踊るものもあれば、普段通りの素顔のままでも踊りますし、独舞もあれば、群舞もあり、静謐に美しい舞踊もあれば、躍動感あふれる荒々しい舞踊もあります。現代においては、オーケストラやダンスとのコラボレーション、映像作品など、日々、創造が続いています。言葉では説明がうまくできないのですが、多種多様な作品があり、また、生み出されています。

私はそんな現代に息づく伝統芸能のひとつである日本舞踊の多面的な魅力を見つめ、古典作品を受け継ぎ、新作作品をこれからも生み出し、次の世代につなげていきたいと考えています。

また、日本舞踊は鑑賞する楽しみだけでなく、実際に踊る楽しみがあります。全国にお稽古場はありますし、ワークショップも行われていますので、日本の素敵なのがたくさん詰まった日本舞踊に、気軽に触れてみていただけたら幸いです。

思いもかけず大変な世の中になってしまいましたし、日々巻き起こる様々なことで悲しくなることもあります。踊りを始めた時、何かを決意した時など、その時その時の初心を忘れずに踊りと向き合いたい…そして、ご覧になった方の明日への活力になるような日本舞踊を踊りたい…と願い、日々、進んで参る想いで居ります。

わたくしにとりまして、マルセン賞は、大きな大きな励ましとなりました。本当に、ありがとうございました。



「春夏秋冬」



「彦市ばなし」

マルセンスポーツ賞 水泳(競泳 個人メドレー)・井狩 裕貴



マルセンスポーツ賞 受賞にあたって

この度は、第17回マルセンスポーツ賞に選んで頂きまして、ありがとうございます。

私は、幼稚園の年長より水泳を始め、現在まで競技を続けさせていたでいております。

小学生の間はサッカーや体操もしていましたが、中学生からは水泳に専念しています。

私の専門種目は、バタフライ、背泳ぎ、平泳ぎ、クロールを順番に100mずつ泳ぐ400m個人メドレーという種目です。この種目の勝者はキングオブスイマーと呼ばれ、水泳の総合力が問われる種目です。

私は苦手な種目がなかったため、中学生になった時から本格的に400m個人メドレーに取り組み始めました。中学3年生の時には半年間で記録が15秒伸びて、初めて全国大会の決勝に進出し、日本水泳連盟の強化選手の制限タイムを突破することができました。

さらにレベルの高い環境に身を置きたいという思いから、大阪の近畿大学附属高校に進学しました。高校から寮生活を始めて、水泳漬けの生活をしていく中で順調に記録が伸びていき、高校3年間でさらに13秒記録を伸ばせました。

大学生になった昨年度は、ユニバーシアード大会の代表に選んでいただき、400m個人メドレーで優勝することができました。

東京オリンピックが夢から目標に変わったその半年後に、新型コロナウイルスの影響でオリンピックが延期になってしまいました。自粛期間中はモチベーションの維持が難しかったですが、自分が水泳をやっている目的を思い直し、現在は前向きにトレーニングができています。

今後、世界がどうなっていくかは、予想がつきません。スポーツをやっている場合ではないと言われるかもしれませんが、私にできることは、岡山の皆様にスポーツの力で勇気と希望を与えられるような選手になることであると思っています。オリンピックが開催された時には、メダルを獲得できるように、日々準備を積み重ねていきたいと思っています。

今後とも応援の程よろしくお願いいたします。



マルセンススポーツ賞 体操(新体操)・岡山県立井原高等学校男子新体操部

マルセンススポーツ賞
受賞にあたって

この度は、栄えある第17回マルセンススポーツ賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。それぞれの分野でご活躍された皆様が受賞された歴史と重みのあるこの素晴らしい賞をいただき、大変光栄でありますと同時に、この賞の重みと責任を感じております。

昨年の8月、鹿児島県で行われました令和元年度全国高等学校総合体育大会に出場し、団体競技にて3年ぶり5度目の優勝を成し遂げることができました。高い志を持ち、日々努力に努力を重ねてきた選手たちはもちろんのこと、選手たちを親身にサポートしてくださったご家族の皆様、選手たちが伸び伸びと活動できる環境作りにご理解いただきました井原高校の皆様、ご支援ご協力いただきました井原市や後援会等、多くの皆様の支えがあったからこそ成し遂げることができた成果であると実感しております。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

新体操は採点競技であるため、練習は決められた演技内容を一人一人がいかに減点なく、完璧に実施できるかという反復練習ばかりになります。また、井原の新体操の特徴でもある「大きく・強く・美しく」を表現するために、柔軟性向上を含む毎日の体作りもシーズンオフから徹底してきました。「日本一になるためには日本一練習する」「不安は練習以外にとることはできない」「努力は必ず自分に返ってくる」の監督の言葉を信じ、本当に大変でしたが、自分たちにできる努力は惜まず頑張ってきました。インターハイ当日は、どこにも負けない練習量と一緒に頑張ってきた仲間を信じ、ここまで支えていただいた方々への感謝の気持ちを持って堂々と演技することができました。優勝が決まり、仲間と喜び合い、生涯忘れることのない最高の経験をさせていただきました。

今後は後輩にバトンを渡しますが、大きく強く美しい井原の新体操をさらに追求し、芸術性の高い作品で、見てくださる多くの方々を魅了していただく。そして、まだ世界へ浸透していない男子新体操を、ぜひ世界へと羽ばたかせてください。

最後になりますが、この度の受賞にあたってご尽力いただきました関係各位の皆様にご心よりお礼申し上げます。今後のマルセンススポーツ・文化財団の益々のご発展を祈念し、受賞のお礼とさせていただきます。

主将 船橋 浩平



マルセンススポーツ賞 射的(弓道)・岡山県立岡山工業高等学校男子弓道部

マルセンススポーツ賞
受賞にあたって

この度は第17回マルセンススポーツ賞に選出させていただき誠にありがとうございます。

私たちは令和元年度に行われた第64回全国高等学校弓道大会(インターハイ)で岡山県勢初となる男子団体優勝をすることができました。学校、そして県の代表としてこのような最高の成績を収めることができ、大変うれしく思っています。これも実際に会場に足を運び応援してくださった方々や、配信を見ながら応援してくださった方々の温かい声援のお陰だと思っています。

残念ながら2連覇を目指した今年度のインターハイは、新型コロナウイルスの影響により中止になってしまいましたが、今回のインターハイに向け日々練習に励んでいます。私たち3年生はもうすぐ卒業となりますが、まだまだ後輩たちに伝えられていないことも数多くあります。残り少ない時間の中で後輩にできる限りの指導を行い、これからの岡山工業高校弓道部を作っていく後輩たちに、私たちの無念を晴らし活躍してもらえるように、すべてを託していきたいと考えています。そしてこの先もそのように伝統を受け継ぎ再びこの部を日本一にしてくれると信じています。

私は弓道に出会い、とても楽しい毎日を送ることができました。弓道を通じて知り合った方々、そしてこの岡工弓道部を作り上げてくださった先輩方や、歴代の顧問の先生には部員一同大変感謝しています。これからも岡山工業高校弓道部が多くの人に応援していただけるように頑張りますので、これからも岡山工業高校弓道部をよろしく願います。

主将 赤木 拓登



マルセンススポーツ賞 球技(バレーボール)・就実高等学校女子バレーボール部

マルセンススポーツ賞を
受賞して

この度は「マルセンススポーツ賞」という大変素晴らしい賞をいただきありがとうございます。喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

この賞をいただけたのは、今就実高校でプレーをしている選手だけでなく毎日指導してくださっている監督や、たくさんの卒業生、いつも応援してくださっているたくさんの方々のおかげです。

就実高校バレーボール部は全国大会で日本一になるために365日バレーボールにかけ、「基本に忠実に」という言葉のもと日々練習しています。この「基本に忠実に」という言葉の中には、派手なことをするのではなく地味で目立たないプレーこそ大切に、という意味があります。誰にでもできる簡単なプレーをいかに手を抜かずに丁寧にできるか、当たり前のことをいかに当たり前にできるかが大切だと、日々監督からご指導いただいています。それを実践していくためには、他のチームがやらないことまで徹底してやらなければ勝てません。勝つためにはしんどいことや苦しいことなどたくさんの試練があります。しかしバレーボールはチームプレーなので仲間がいます。その仲間がいるからこそどんなことでも乗り越えていけます。目標の「日本一」になることは決して簡単なことではありませんが、その分目標を達成できたときの喜びは大きいです。それを学んだのが昨年宮崎県で開催されたインターハイです。インターハイでは、チームをひっぱりくれた先輩方や監督、応援してくださっている方々の力もあり「日本一」を手にすることができ、頂点からの景色を見ることができました。インターハイで学び得たものは、計り知れません。誰もがすることではないその経験を活かして、これからも、周りに支えてくれている人がいることを忘れず、思い切り練習できる環境があることに感謝して、日本一を目指し続けるチームにふさわしくあるように、頑張っていきます。

主将 深澤めぐみ



マルセンススポーツ賞 陸上競技(長距離)・前田 穂南

マルセンススポーツ賞
受賞にあたって

この度は、マルセンススポーツ賞という素晴らしい賞に選出頂き、ありがとうございます。

私が陸上競技を始めたきっかけは、昔から走るが好きで小学校の先生から勧められたこともあり中学校で陸上部に入り本格的に陸上競技を始めました。

中学、高校は全国大会出場ができませんでしたが中学、高校の恩師に教わってきた基礎基本の内容は今でも忘れず大事にして、毎日コツコツ取り組んでいます。

高校3年生では進路にとっても悩みましたが、「将来は世界で活躍するマラソン選手になりたい!オリンピックに出場したい!」という思いが強くあり実業団に入社することを決意しました。

天満屋に入社してからは、素晴らしい監督の指導とチームのスタッフ、仲間、会社のサポート、地域の皆様に支えて頂き、毎日恵まれた環境の中で夢に向かって走っていくことができています。

入社当初は慣れない環境の中での生活で不安もありましたが、ワクワクすることの方が大きく、練習では初めて行う練習ばかりで新鮮で充実した生活を送っていました。

その後はさらに一日一日があっという間に過ぎ去り、3年目で北海道マラソン優勝などさまざまな経験をさせて頂いています。

いつも地域の皆様にもたくさんの応援の声をかけて頂き、とてもありがたく感謝しています。

また2019年度のマラソングランドチャンピオンシップでは、皆様のご声援とサポートのおかげで目標にしていた優勝と東京五輪出場内定が決まりとても嬉しかったです。心より御礼申し上げます。

東京五輪が1年延期となりましたが、また1年強化できる期間が増えたと捉えて、練習を継続しながら自分らしく走っていききたいと思います。

スポーツの力でこれからも岡山県から全国へ大きな夢と希望、勇気や感動を与えられるような走りをしていきたいと思っています。これからも応援よろしくお願ひします。

このような機会をくださった皆様、本当にありがとうございました。

マルセン文化賞 伝統芸能(無形民俗文化財)・松山踊り保存会



日進月歩

このたびは、マルセン文化賞という栄えある賞を賜り誠にありがとうございます。関係の皆様方には、心よりお礼を申し上げます。

松山踊りは、江戸時代前期から備中松山藩の城下町において伝承されている盆踊りです。踊りの種類は、「地踊り」「仕組踊り」「ヤトサ」があります。「地踊り」は、慶安元(1648)年に備中松山藩主水谷勝隆が五穀豊穡と町家繁栄を祈って、八幡神社の秋祭りで踊らせたことに始まるといわれます。「仕組踊り」は、延享元(1744)年以降、藩士の子弟による尚武の踊りとして始まったとされます。「ヤトサ」は、かつて旧川上・上房郡内に伝わっていた踊りですが、平易な旋律、軽快なリズムで人気が高まり、昭和初期以降に高梁で踊られるようになったとされます。

松山踊り保存会は、松山踊り音頭保存会、仕組踊り保存会、踊りフレンズの3保存伝承団体や一般社団法人高梁市観光協会等の協力により、平成30年2月に設立した団体です。

例年8月14日から16日までの3日間、備中高梁駅前大通りで行われる「備中たかはし松山踊り」ですが、今年は新型コロナウイルスの影響で中止になりました。しかし、疫病退散の願いを込めて「地踊り」と「ヤトサ」は八幡神社で、「仕組踊り」は備中松山藩主を務めた板倉家の神社である八重籬神社で、それぞれの保存伝承団体により奉納されました。また、高梁市観光協会は、市民から募った松山踊りの動画を投稿サイト・YouTubeで公開しています。

松山踊りは多くの関係者に支えられながら、コロナ禍を乗り越えようとしています。今回の受賞は、関係者の皆様方の努力のたまものであり、今後の活動の励みになるものです。「新しい生活様式」がうたわわれていますが、伝統芸能の保存と振興においても、新たな取り組みが大切であると感じています。

会長 山田 功



マルセン文化賞 文芸(小説・物語)・村中 李衣



あららな日々を歩む

今年に入るまで私たちは、オリンピックイヤーだ、新しい何かが生まれるそうだとどこか浮かれ気味で、ウイルスに翻弄される日々になるうとは思ひもしなかった。積極的に外へと向かうこと、人と人との密な関係を育てていくこと、このふたつの否定は、これまで文化・教育の分野が目指してきた方向性を覆し、人々にストレスを与え続けている。でも、こんな時にこそ、「一方向でないものの見方・考え方」を探し出すエネルギーを与えてくれるのが文学であると、私は思う。

4月以降、街中にある自宅を離れて、山の中にある農園の小屋で過ごす時間が増えた。ここにいれば、ほとんど人の出入りはなく、もっぱら、土・植物・人間以外の生き物たちと向かい合うだけだ。のんびり静かに時間が流れるのかと思えば、とんでもない。早朝の畑に行けば、猿が両手で大根を引き抜き立ち去っていくし、お昼どき、草むらに産み落とされたキジの卵があつという間に蛇に丸呑みされてしまう。夕暮れ時、大雨でプールと化した庭をびよびよんガエルたちが、これは好都合とばかりにツイーツイ泳いで渡る。絶え間なく起こる出来事に、心の中は驚きで充ち満ちて、言葉はふつつ沸き立つばかりである。なかでも、果樹の堆肥用に「ゾウさんのうんち」をもらい受ける動物園の飼育員さんから聞かされた言葉は衝撃的だった。「動物園は閉鎖され、誰も来てもらえないから動物たちも寂しいでしょうね」と言ったら「とんでもない、常に人間の視線にさらされる毎日から解放され、動物たちはストレス解消。この堆肥も「ノーストレスの最上うんこですよ」。自分たちの常識だけで世界を動かせると勘違いし、リモコンのように無造作に言葉を振り回していたのだと気づかされた。思い通りにいかず、これまで見過ごしてきた土の声や風の声、人間以外のものたちが織り成す自然界のありように五感を投じて新しい言葉を得ていくこと。そしてその言葉をこそ次世代の子どもたちに伝えていくことが児童文学の役目だと思う。2020年、農村でのあららな日々を描いた作品で、マルセンスポーツ文化賞という晴れがましい賞を頂いたことを、これからの道しるべとして、大事に歩んでいきたい。



村中李衣(左)著書「あららな日々」で絵を描かれた石川えりこさん(右)

ホ ッ ト コ ー ナ ー

岡山の名門躍進

コロナ禍 郷土に希望の光

東京五輪は史上初の延期が決まり、春夏の甲子園大会、全国高校総体に続き、国体も中止に追い込まれた。2020年、新型コロナウイルス感染症の拡大は岡山スポーツ界にも暗い影を落とした。依然として収束が見通せない中で迎えた21年の年明け、郷土に希望の光を届けたのはコロナ禍の苦境でもひたむきに競技に打ち込み、努力を重ねた高校アスリートたちだった。

◇

ノーシードからの快進撃は1月10日、ついに歓喜のファイナレを迎えた。緊急事態宣言が再発令され、無観客の東京体育館。バレーボールの全日本高校選手権女子決勝で就実が大阪国際滝井を3-1で下し、25大会ぶり3度目の優勝を成し遂げた。

計6試合で失ったセットはわずか2と見事な勝ちぶりだった。攻守に隙のない戦いで前々回覇者の金蘭会(大阪)、昨年準優勝の古川学園(宮城)といった難敵を撃破し、「試合のたびに選手が成長した。理想のバレーができた」と前回優勝時のエースだった西畑美希監督は総括する。

立役者は大会最優秀選手賞に輝いた深沢めぐみ、優秀選手賞に選ばれたつぐみの2年生の双子姉妹だ。ともに176センチ。大会を通じて豪快なアタックや効果的なブロックでチームをけん引した。決勝では姉がチーム最多の27得点、妹は22得点をマークし「メグツグ」の名を全国にとどろかせた。

「春高バレー」の愛称で知られる大舞台。厳しい

鍛錬に裏打ちされた伝統の堅守がリズムを生んだ。規格外の留学生や超高校級の相手エースの強打をリベロ小林らが身を投げ出して拾い上げ、長いラリーにも根負けしなかった。多彩なトワークが光った1年生セッターの岩本沙希、強気のサーブや切れ味のある速攻を随所で披露した3年生のセンター周田夏紀、主将の大賀みるくら、それぞれが自分に与えられた役割を全うした。

夏の全国高校総体を制し、第1シードで臨んだ昨年の「春高」はまさかの初戦敗退。連覇が懸かっていた高校総体や国体を取りやめになる中、本年度唯一の今大会に懸ける思いはどのチームよりも強かった。大会前、そして大会期間中も感染予防に細心の注意を払い、見えないウイルスとも闘ってきた。コート内外で目標の日本一へ結束したチームに勝利の女神がほほ笑むのは必然だったのかもしれない。「コロナで大変な状況でも試合ができることに感謝し、結果にこだわらず、全員で思い切り楽しんで戦った」。周田のコメントに全てが凝縮されている。

◇

就実と時を同じくして緑のユニホームがピッチを縦横無尽に駆け巡った。兵庫県で開催されたサッカーの全日本高校女子選手権で過去最高に並ぶ準優勝を果たした作陽。全員が運動するパスサッカーと、組織的な守備を前面に3大会ぶり2度目の決勝に進出した。



就実優勝の原動力になった深沢めぐみ(中央左)とつぐみ(同右)の姉妹



25大会ぶりの頂点に立ち、笑顔で記念写真に納まる就実の選手

バレー就実日本一、サッカー作陽準V

戦い方が難しいとされるトーナメント初戦の劇的勝利で波に乗った。東海1位の常葉大橋(静岡)を相手に敗色濃厚な試合終了間際にDF森宙舞のゴールで追い付き、GK阿部千優の好セーブでPK戦を制すと、2回戦と準々決勝はいずれも完勝。「一つ勝つごとにチームの勢いが加速した」と就任10年目の池田浩子監督は語る。

ハイライトは1回戦同様、最後まで諦めず、しぶとく食らいついた大商学園(大阪)との準決勝。1点ビハインドの最終盤、相手GKのミスを逃さず詰めたMF江崎世来が同点ゴールを決め、再びPK戦をものにした。

コロナによる休校期間中も池田監督はオンラインで頻繁に選手と連絡を取り合い、一体感の醸成に努めた。個性派ぞろいの3年生にとって最後の全

国大会。集大成のステージで主将のDF岡本亜子を中心に心を一つにしたことも激闘をぐり抜けることができた大きな要因だろう。

1月10日の決勝は前回女王の藤枝順心(静岡)に屈し、岡山勢悲願の優勝は持ち越されたが、その足跡は色あせるものではない。

◇

見る者を魅了し、閉塞感が漂う地域を明るく照らし、スポーツの力を示した両チーム。競技こそ違えど、時には厳しく、時には優しく選手に寄り添う指揮官、さらに有望な1、2年生が多く残る点でも通じる。新チームの初陣となった県高校新人大会はともに他を寄せ付けず圧倒した。全国の頂へ岡山が誇る名門2校の新たなチャレンジは始まっている。

(本文、写真ともに山陽新聞社提供)

◇…就実の熱戦の跡…◇

1 回 戦	2-0	青森西(青森)
2 回 戦	2-0	文京学院大女(東京)
3 回 戦	2-0	聖和女学院(長崎)
準々決勝	2-0	金蘭会(大阪)
準 決 勝	3-1	古川学園(宮城)
決 勝	3-1	大阪国際滝井(大阪)



決勝でシュートを放つ作陽の井手段祐有



表彰式後、メダルを胸に笑顔を見せる作陽イレブン

◇…作陽の熱戦の跡…◇

1 回 戦	1-1	常葉大橋(静岡)
	(PK4-3)	
2 回 戦	2-0	聖和学園(宮城)
準々決勝	2-0	暁星国際(千葉)
準 決 勝	2-2	大商学園(大阪)
	(PK4-3)	
決 勝	0-3	藤枝順心(静岡)

若き音楽家たちの挑戦

本場・欧州の経験生かし

新型コロナウイルス禍によって音楽界が沈滞した2020年、ともに海外に拠点を置く岡山出身の若手音楽家2人が輝きを放った。権威ある欧州の国際コンクールで優勝したソプラノ歌手森野美咲さん(32)と、自ら立ち上げた弦楽オーケストラの初ツアーを成功させたバイオリニスト福田廉之介さん(21)。ともに古里とのつながりを見つめつつ、さらなる高みを目指す。

◇

9月初旬、欧州から吉報が届いた。オーストリアで行われた「ヨハネス・ブラームス国際コンクール」の声乐部門決勝で、森野さんは卓越した表現力が評価され、部門1位に輝いた。ピアノ伴奏は城東高校の同級生の木口雄人さん＝高梁市出身。木口さんも最優秀ピアノ伴奏賞に選ばれた。

テノール歌手の父親・啓司さん(城東高校教諭)に学び、東京芸大を経て、2011年からウィーンで活

動する。オペラのオーディションに挑む中で実力を高め、コンクールでも入賞を重ねた。欧州の大舞台への出演を決めた矢先、コロナ禍で全てが白紙に。失意の中、デュオを組む木口さんに出演を打診されたのが、ブラームス国際コンクールだった。

日常が激変した今、聴衆に向けて自分が表現すべきものは何か。コンクール決勝では、「愛」をテーマに選んだ「セレナード」など7曲を情感豊かに歌った。「評価や結果にこだわらず、歌える喜びを心から感じることができた」と、ひのき舞台を振り返る。新しい年が明け、欧州での舞台が再始動する中、「聴衆の人生に寄り添うような歌を歌ってきたい」。音楽家としての決意はゆるぎない。

◇

その夜、久しぶりに岡山シンフォニーホールは、華やかな弦の調べに包まれた。10月9日、国内トップ級の若手奏者12人でつくる楽団「The MOST」



ブラームス国際コンクール会場前で受賞後、記念撮影する森野美咲さんと木口雄人さん



森野美咲さん



独奏する福田廉之介さん



「The MOST」の岡山公演で小学生と演奏する福田廉之介さん(手前右)

クラシックの魅力 古里へ



初回の岡山公演に臨む「The MOST」のメンバー



10月の定期演奏会で本格的活動を再開した岡山フィルハーモニック管弦楽団

のツアー岡山公演。福田廉之介さんは音楽監督として舞台挨拶、司会、そしてバイオリン独奏に大活躍した。春以降、岡山でも多くの公演が見送られただけに、地元出身の俊英が手掛けた演奏会はファンに最高の贈り物となった。

福田さんは赤磐市・桜が丘中2年時に国際コンクールで優勝し、スイスの名門・ローザンヌ高等音楽院に単身留学中。各地での客演など活躍の場を広げる一方で、客層が固定化したクラシック音楽の将来へ危機感を募らせていた。持ち前の行動力で20、30代の精鋭に声を掛け、若い世代に古典の楽しさを伝えるために結成したのが「The MOST」だ。

当初5会場を予定したツアーはコロナ禍で3会場に減り、客席数も半分に。チケット料金も低めに抑えたため、まさに「ぎりぎりの運営」だったが、聴きどころ満載の本番は祝祭色に彩られた。佐藤晴真さん(チェロ)、田原綾子さん(ビオラ)ら気鋭の奏者とつくり上げた華麗なアンサンブル、オーディションで選んだ地元の子どもたちとの共演…。「私たちが楽しんで奏でた音色は、きっと若い世代の心にも届いたはず」と福田さん。地元支援者の力添えにより、楽団の運営を支える一般社団法人も設立されるなど、「クラシック音楽の普及」という目標達成へ、確かな一歩を踏み出している。

◇

コロナ禍を受けた演奏会の開催自粛が、岡山でも相次いだ。岡山フィルハーモニック管弦楽団は春、夏の演奏会を見送り、10月から再開した。ベートーベン生誕250年の年だったが、年末恒例の「第九」演奏会をはじめとする関連行事は、多くが中止された。

演奏会場での「3密」を避けるため、客席の間隔を取る対応は半ば定着した。中でもルネスホールが7月に催した「ソーシャルディスタンスコンサート」はコロナ下での運営や鑑賞のあり方を探る試みだった。このほか、奏者が出張する小規模公演や演奏動画のオンライン配信など、活動継続へ向けた懸命の努力が重ねられた。とはいえ感染収束の見通しは立ちにくく、関係者が頭を悩ませる日々は当分続きそうだ。

(本文は山陽新聞社提供。写真は森野美咲さん、山陽新聞社提供)



ルネスホールが開いたソーシャルディスタンスコンサート。ステージと客席の間にビニールシートを張った

第3章 イベントの開催(主催・共催)

岡山県のスポーツ・文化の振興発展を支援するため、次の事業を実施しております。

1 スポーツ

● マルセンスポーツ教室

(新型コロナウイルス感染拡大のため実施しておりません)

2 文化

● マルセン文化教室

(新型コロナウイルス感染拡大のため実施しておりません)

第4章 広報啓発育成事業

競技スポーツ及び芸術性の高い音楽・演劇等の観賞の機会の提供を通じて、スポーツ・文化の振興発展に努めております。

1 啓発育成事業

ア チケットプレゼント

① スポーツ関係

◎ Vリーグ観戦チケット(岡山シーガルズホームゲーム)

- 期 日：令和3年1月9日(土) VS NECレッドロケッツ (応募数45)
- 期 日：令和3年1月10日(日) VS 日立リヴァーレ (応募数40)
- ※1/9-10新型コロナウイルス感染拡大のため中止
- 期 日：令和3年1月16日(土) VS 東レアローズ (応募数47)
- 期 日：令和3年1月17日(日) VS PFUブルーキャッツ (応募数28)
- 会 場：ジップアリーナ岡山
- 招待者：各15名 60名 (応募者数160名)

② 文化関係

◎ 第75回春の院展倉敷展

- 期 日：令和2年7月4日(土)～7月12日(日)
- 会 場：倉敷市立美術館
- 招待者：50名(井手康人氏寄付20名分含む) (応募者数119名)

◎ The 備前 土の炎から生まれる造形美

- 期 日：令和2年10月10日(土)～11月8日(日)
- 会 場：岡山県立美術館
- 招待者：50名 (応募者数64名)

◎ 白馬のゆくえ 近代日本洋画の黎明

- 期 日：令和2年9月5日(土)～11月29日(日)
- 会 場：高梁市立成羽美術館
- 招待者：20名 (応募者数36名)

◎ 第67回日本伝統工芸展岡山展

- 期 日：令和2年11月13日(金)～11月29日(日)
- 会 場：岡山県立美術館
- 招待者：50名 (応募者数83名)

◎ マイセン動物園展

- 期 日：令和2年12月5日(土)～令和3年1月31日(日)
- 会 場：岡山県立美術館
- 招待者：100名 (応募者数(土日祝)24名(平日)76名)

◎ 岡山フィルハーモニック管弦楽団特別演奏会

- 期 日：令和2年12月6日(日)
- 会 場：岡山シンフォニーホール
- 招待者：30名 (応募者数121名)

第4章 広報啓発育成事業

◎ホキ美術館名品展

- 期 日：令和2年12月18日(金)～令和3年2月23日(火・祝)
- 会 場：岡山シティミュージアム
- 招待者：50名 (応募者数191名)

◎再興第105回院展岡山展

- 期 日：令和3年1月2日(土)～17日(日)
- 会 場：天満屋岡山店葦川会館
- 招待者：150名 (応募者数157名)

◎岡山フィルハーモニック管弦楽団ニューイヤーコンサート

- 期 日：令和3年1月17日(日)
- 会 場：岡山シンフォニーホール
- 招待者：30名 (応募者数178名)

◎天神日舞

- 期 日：令和3年1月30日(土)
- 会 場：能楽堂ホールtenjin9
- 招待者：20名 (応募者数89名)

◎～世界に向けて～

岡山の情景を音楽で語る旅

- 期 日：令和3年2月4日(木)
- 会 場：岡山シンフォニーホール
- 招待者：20名 (応募者数52名)

◎雪舟と玉堂ふたりの里帰り

- 期 日：令和3年2月10日(水)～3月14日(日)
- 会 場：岡山県立美術館
- 招待者：50名 (応募者数226名)

① ホームページ・Facebookを通じての広報

② 広報誌「マルセン」17号の発刊

③ 活動助成団体によるラジオ番組出演(活動状況報告)

◎RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2020」

- 「表町LIVE あもーれ! マッターノ」の中、14時～16時30分の中で10分程度放送
パーソナリティ 月：坂俊介アナ 火：奥富亮子アナ 木：国司憲一郎アナ
- 期 間：令和2年11月9日(月)～11月19日(木)
 - 出演団体：スポーツ関係 4団体 文化関係 6団体

第4章 広報啓発育成事業

2 協賛・後援事業

⑦ スポーツ関係

◎晴れの国おかやま24時間100キロ歩行2020

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

- 主 催：晴れの国おかやま24時間100キロ歩行実行委員会
- 期 日：令和2年5月3日(日)～4日(月) 協賛金：一 千円

◎森口祐子ジュニアゴルフ教室

- 主 催：岡山放送(株)
- 期 日：令和2年8月21日(金)
- 会 場：東児が丘マリンヒルズカントリーゴルフクラブ
- 協賛額：100千円

◎森口祐子シニアゴルフ教室

- 主 催：岡山放送(株)
- 期 日：令和2年12月9日(水)
- 会 場：後楽ゴルフ倶楽部
- 協賛額：200千円

◎第39回岡山女子ロードレース大会

- 主 催：(株)山陽新聞社 他 主管 岡山陸上競技協会
- 期 日：令和2年12月20日(日)
- 会 場：岡山市内(岡山県陸上競技場出発着)
- 協賛額：1,100千円

⑧ 文化関係

◎倉魂!「高校生コミック・イラストコンクール2020」

- 主 催：倉敷芸術科学大学
- 期 日：令和2年6月1日(月)～令和3年3月31日(水)
- 会 場：倉敷芸術科学大学及び関係施設 協賛額：100千円

◎マイセン動物園展

- 主 催：岡山放送(株)
- 期 日：令和2年12月4日(金)～令和3年1月31日(日) ※一般入場は12月5日(土)から
- 会 場：岡山県立美術館 協賛額：200千円

◎旧閑谷学校創学350年記念事業

市民ミュージカル・ファンタジー「閑谷の森の論語キッズ」公演

- 主 催：旧閑谷学校創学350年記念市民ミュージカル実行委員会
- 期 日：令和2年12月20日(日)
- 会 場：備前市市民センター ホール
- 協賛額：200千円

◎誰も知っているのに、誰も知らない岡山の文化 ライトトークセッション2021

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

- 主 催：おかやま歴史文化伝承委員会 期 日：令和3年2月16日(火)
- 会 場：おかやま未来ホール 協賛額：一 千円



大賞作品「秘密」



(写真提供：各主催者)

第5章 その他の事業

◎岡山リベッツ青春ドリームマッチ支援

- ・期 日：令和2年9月29日(火)
- ・目 的：コロナ禍で今年度のインターハイや県内大会が中止となり大会に向け卓球に青春をかけてきた高校3年生に夢と感動を届ける
- ・支援金：100千円

(II)財団の活動

法人管理

1 会議等

●評議員会

- (1)定時評議員会(書面) 令和2年6月22日(月)
 - ①令和元年度事業報告及び収支決算の件
 - ②令和2年度収支予算補正の件
- (2)臨時第1回評議員会(書面) 令和3年3月24日
 - ①令和2年度収支予算(補正)承認の件
 - ②令和3年度事業計画及び収支予算承認の件

●理事会

- (1)臨時第1回理事会(書面) 令和2年4月30日
 - ①選考委員選任の件
- (2)定時第1回理事会 令和2年6月4日(木)
 - ①令和元年度事業報告及び収支決算承認の件
 - ②第17回マルセンスポーツ・文化賞候補及び協賛事業・名義後援の件
 - ③令和2年度収支予算補正承認の件
 - ④令和2年度助成事業の取扱いに関する件
 - ⑤書面による定時評議員会開催(提案)の件
- (3)臨時第2回理事会(書面) 令和2年8月26日
 - ①「マイセン動物園展」協賛に関する件
 - ②「森口祐子シニアゴルフ教室in岡山」協賛に関する件
- (4)臨時第3回理事会(書面) 令和2年12月14日
 - ①「誰も知っているのに、誰も知らない岡山の文化 ライブトークセッション 2021」協賛に関する件
- (5)定時第2回理事会 令和3年3月16日(火)
 - ①令和2年度収支予算(補正)承認の件
 - ②令和3年度事業計画承認の件
 - ③令和3年度収支予算承認の件
 - ④令和3年度スポーツ・文化活動助成事業等承認の件
 - ⑤助成規程の一部を改正する件
 - ⑥任期満了に伴う選考委員選任の件

- ⑦臨時第1回評議員会(書面)開催の件
- ⑧各種申請書等の様式を変更する件
- ⑨事務局長定年延長承任の件
- ⑩「ヨーロッパ絵画400年の旅」名義後援承認の件

●監 査 令和2年5月20日(水)

●選考委員会

- (1)第1回委員会 令和2年5月27日(水)
 - ①第17回マルセン賞選考の件
 - ②協賛・名義後援選考の件
- (2)第2回委員会(書面) 令和2年8月11日
 - ①協賛(マイセン動物園展・森口祐子シニアゴルフ教室in岡山)選考の件
- (3)第3回委員会(書面) 令和2年12月4日
 - ①協賛(誰も知っているのに、誰も知らない岡山の文化 ライブトークセッション 2021)選考の件
- (4)第4回委員会 令和3年2月8日(月)
 - ①令和3年度活動助成事業及び協賛事業選考の件
 - ②助成規程の一部を改正する件
- (5)第5回委員会(書面) 令和3年3月15日
 - ①「ヨーロッパ絵画400年の旅」名義後援承認の件

お知らせ

マルセンスポーツ・文化活動助成事業について

当財団では、スポーツ活動及び文化活動（文化財補修事業を含む）にかかる助成事業を毎年実施しております。

詳細（募集要項）については、「財団ホームページ」及び11月初旬、生涯学習施設に配付する「募集のお知らせ」にてご確認ください。

記

1 助成対象活動

- ① スポーツ活動（県民の健康増進・競技力の向上を目的としているもの。）
- ② 文化活動（豊かな心の形成（文化芸能・伝統文化・地域文化の振興等）を目的としているもの。）
- ③ 文化財補修活動（県市町村指定の文化財の緊急補修を要するもの。）

2 募集期間

毎年11月15日から翌年1月20日（期日が土・日曜日の場合は、翌月曜日）
但し、上記③については、随時。

3 助成額

10万円
ただし、文化財の補修等に係る活動については、その都度定める。

4 助成金交付決定の時期 3月下旬

5 審査基準

- ・活動の目的及び内容が当財団の助成目的に沿ったものであること。
- ・活動内容が具体的であるもの。
- ・活動の参加に制限がなく、誰でも参加できるものであること。
- ・概ね1年以上の活動実績があること。
- ・助成金の使途が適切であり、助成の緊要度が認められること。
- ・岡山県内で行われる活動であり、岡山県内に所在する団体・居住する個人が実施すること。

6 留意事項

- ・助成金は、自己又は構成員へ支出する報酬・旅費等及び組織の維持費には充当できません。
- ・反社会的勢力と関係のある団体に該当する場合は、対象となりません。
- ・営利を目的とする活動は、対象となりません。
- ・その他、助成規程・助成事業実施基準をご確認ください。

7 申請書への添付書類（全て写しで可）

- ・組織の設置規程（規約等）
- ・昨年度の決算書、パンフレット、当該年度の事業計画（申請書に記載）
- ・助成審査前確認シート（様式2号）

8 その他

- ・申請書記載内容については、記載例（申請書裏頁）を参照のうえ、作成してください。事業計画欄に団体設置の目的、事業の目標、苦慮している点、成果目標等を600字内で簡潔に記載してください。助成事業申請書等の入手は、財団ホームページから関係申請書をダウンロードしてください。インターネット環境がない場合、財団にご連絡ください。（086-800-0077）
- ・連続しての助成は原則行わないが、実施事業内容の必要性から、複数連続しての助成を行う。（令和3年度から実施予定）

様式1号

令和	年度	スポーツ・文化活動	助成事業申請書		受付日	受付場所
公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団			いずれかを、○で囲んでください。 ※Excel版は選択となっている。 活動区分を最初に選択しないと申請区分（大・小分類）は選択できません。		郵便物の送付先 団体宛の住所の場合、その住所先団体名も記載してください 個人宅の宛名の場合、そのお名前も記載してください	
団体名	(マダマ) マルマルチョウシヨウネンキョウクラブ 〇〇町少年野球クラブ	構成人数 35人	所在地 岡山市北区	代表者 監督 岡山 太郎	申請について質問させていただける方	
住所 (連絡先)	〒700-0023 岡山市北区駅前町〇〇-〇	氏名もしくは、団体名 (〇〇様方)	担当 同上	担当 倉敷 花子	平日屋間連絡できる電話番号・もしくはメール・ファックス宛名名称も記載してください。	
申請区分	大分類 (1) 競技スポーツ 小分類 軟式野球	実施時期 年度内の実施時期を記載してください。	実施場所	※担当者のものを記入ください		
活動名	第〇〇回 〇〇町学童親善野球大会			助成を受ける対象の活動名 事業内容や特徴が一目でわかる名称が望ましい。		
助成を受けての事業計画 (600字以内)	設置目的： 苦慮している点： 成果目標： 達成に向けての事業計画： ※使用フォントはポイント10.5以下にしないでください。					
過去実績	貴団体の設立時期、構成人数、活動内容等（1年以上の活動実績がなければ申請できません） (財団HP「助成事業実施基準」1参照)					
収入の部	項目	金額 (円)	項目	金額 (円)	内容	10万円以下の希望額を記入してください。 ※ 助成額は、申請された内容、規模等を審査して決定しますので、申請金額と異なる場合があります。
予定事業収支計画	助成希望金額 (10万円)	90,000	会場費	60,000	〇〇グラウンド 8時～17時	収支は一括計上せず、内訳を明記してください。 支出経費のうち、活動助成金から充当を予定している経費には※印を付けてください。 ※同一科目でも活動助成金を充当する項目とそれ以外は別記してください。
	参加料 (※5千円×17チーム)	85,000	消耗品費	21,600	※5400円×4ケース	
	主催者負担額		交際費	45,000	※2500円×18試合	
	クラブ予算	30,000	消耗品費	10,000	優勝チーム・準優勝チーム	
	〇〇会助成金	20,000	消耗品費	5,400	優勝チーム	
			交際費	7,150	※550円×13個 (審判他)	
			消耗品費	60,000	※200円×300個	
			消耗品費	4,500	ライン用石灰他	
			消耗品費	6,070	コピー用紙・プリンターインク代等	
			通信費	3,280	※室内放送費	
収入合計	225,000	支出合計	225,000	収支金額は同額となり、※額計は財団助成額以上となること。		
備考	※年間個人負担額 5,000 円 (※ 130,000 円) 活動助成金充当額合計 ※収入予算と団体全予算の関係：同額・一部 (全予算額 千円)					
他の助成等を受けていますか？	はい () いいえ () ※〇会					
他の助成等の申請予定はありますか？	はい () いいえ ()					
過去に当財団の助成を受けましたか？	はい () いいえ () 平・令 年度 新 (受の番号) 平円					

- ・当財団の助成金を充当する項目に ※ を記入してください。
- ・備品等を財団の助成金で購入希望の場合、購入予定価格のわかる書類を添付してください。（見積もり・カタログ等のコピー等。個別に記載すること。）
- ・申請の内容が通年（1年間）に係る事業の場合は、年間予算額を、特定の期間の事業の場合にはその事業に係る予算額を記入してください。
- ・収支計画の基となった、昨年収支実績もしくは事業収支を添付してください。
- ・申請に当たっては「別紙のとおり」等と省略せず、簡潔にまとめて記載してください。

記載例

事業の記録

1 助成の記録

●第16回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
R1.11.25	スポーツ	183万円	15件	8件	779,766円	合 計 19件 1,829,766円 累 計 292件 39,237,735円
	文 化		28件	11件	1,050,000円	

●第15回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
30.10.23	スポーツ	204.3万円	15件	10件	953,000円	合 計 21件 2,043,000円 累 計 294件 37,407,969円
	文 化		28件	11件	1,090,000円	

●第14回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
29.8.28	スポーツ	200万円	22件	9件	900,000円	合 計 20件 2,000,000円 累 計 293件 35,364,969円
	文 化		37件	11件	1,100,000円	

●第13回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
28.11.4	スポーツ	208.9万円	20件	9件	851,000円	合 計 22件 2,089,006円 累 計 295件 33,364,969円
	文 化		52件	13件	1,238,006円	

●第12回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
27.8.26	スポーツ	206.8万円	15件	7件	688,020円	合 計 21件 2,067,650円 累 計 273件 31,275,963円
	文 化		66件	15件	1,379,630円	

*文化のうち1件中止

●第11回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
26.8.7	スポーツ	120万円	21件	12件	1,119,000円	合 計 26件 2,497,000円 累 計 252件 29,208,313円
	文 化	130万円	57件	14件	1,378,000円	

●第10回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
25.10.24	スポーツ	100万円	18件	13件	1,300,000円	合 計 30件 3,000,000円 累 計 226件 26,711,313円
	文 化	100万円	57件	17件	1,700,000円	

●第9回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
24.8.27	スポーツ	100万円	24件	10件	970,000円	美作国建国1300年記念事業実行委員会 30万円 合 計 25件 2,670,000円 累 計 196件 23,711,313円
	文 化	100万円	56件	14件	1,400,000円	

●第8回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
23.7.12	スポーツ	100万円	25件	10件	986,000円	合 計 21件 2,011,628円 累 計 171件 21,041,313円
	文 化	100万円	46件	11件	1,025,628円	

●第7回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
22.7.5	スポーツ	100万円	11件	8件	717,020円	第25回国民文化祭おかやま2010 100万円 合 計 22件 2,977,020円 累 計 150件 19,029,685円
	文 化	100万円	43件	13件	1,260,000円	

●第6回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
21.7.27	スポーツ	100万円	19件	10件	959,115円	第25回国民文化祭おかやま2010 100万円 合 計 25件 3,258,115円 累 計 128件 16,052,665円
	文 化	100万円	42件	14件	1,299,000円	

●第5回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
20.7.29	スポーツ	100万円	34件	10件	996,410円	県立総社南高等学校ダンス部保護者会 100万円 合 計 21件 2,996,410円 累 計 103件 12,794,550円
	文 化	100万円	45件	10件	1,000,000円	

●第4回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
19.7.24	スポーツ	100万円	31件	10件	964,500円	合 計 21件 1,994,500円 累 計 82件 9,798,140円
	文 化	100万円	53件	11件	1,030,000円	

●第3回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
18.7.21	スポーツ	100万円	36件	10件	970,000円	合 計 20件 1,962,000円 累 計 61件 7,803,640円
	文 化	100万円	27件	10件	992,000円	

●第2回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
17.8.3	スポーツ	100万円	34件	10件	988,640円	晴れの国おかやま国体 100万円 合 計 21件 2,988,640円 累 計 41件 5,841,640円
	文 化	100万円	24件	10件	1,000,000円	

●第1回 交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	予 算	応募数	助成数	助成額	
16.12.14	スポーツ	100万円	31件	10件	1,000,000円	晴れの国おかやま国体 100万円 合 計 20件 2,853,000円
	文 化	100万円	15件	9件	853,000円	

2 表彰の記録

●第16回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
R1.11.25	スポーツ	特別賞	平林金属男子ソフトボールクラブ	球技 ソフトボール
		賞	中尾 駿一 長迫 吉拓 西崎 純郎 フィレモン・キブラガット 山根 美千義	水泳 競泳(自由形) 自転車 BMX アニマル 馬術 陸上競技 競走(障害) ウォーター カヌー
	文 化	特別賞	黒井 千左 森野 美咲	美術 陶芸(虫明焼) 音楽 声楽(ソプラノ)
		賞	秋田 美鈴 大森 一樹 備中神楽北山社 藤川 翠香	美術 彫刻(塑像) 総合芸術 バレエ 伝統芸能 舞踊(神楽) 美術 書(かな)

事業の記録

●第15回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
30.10.23		栄誉大賞	新田 住浩	スキー クロスカントリー
	スポーツ	賞	創志学園高等学校女子ソフトボール部	球技 ソフトボール
			福岡 珠緒 森川 昴哉	アニマル 馬術 パワ― 重量挙げ
	文 化	大賞	金重 有邦 菅井 竜也	美術 陶芸(備前焼) 伝統文化 将棋
		賞	内山 詠美子 高月 暉光 竹田喜之助顕彰会	音楽 打楽器(マリンバ) 美術 工芸(木工芸) 総合芸能 人形劇

●第14回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
29.8.28	スポーツ	特別賞	佐藤 友祈	陸上競技 競走(車いす)
		賞	岡田 直也	射的 ライフル射撃
			倉敷高等学校陸上競技部	陸上競技 駅伝
			第71回国民体育大会弓道競技成年男子岡山県選抜	射的 弓道
	文 化	大賞	森定 昭広	陸上競技 指導者
			難波 滋 森 陶岳	美術 洋画 美術 陶芸(備前焼)
		賞	吉備神楽社 木村 善明	無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 声楽(リズミカル)

●第13回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
28.11.4	スポーツ	賞	梅木 真美	格闘技 柔道
			関西高等学校体操競技部	体操 体操競技
	文 化	特別賞	齋藤 愛美 佐藤 友祈	陸上競技 競走 車いす陸上競技 競走(T52クラス)
			高木 聖雨	美術 書道
		賞	島村 光 森山 知己 小倉 綾乃 玉置 里美 寺坂 昌三	美術 陶芸(備前焼) 美術 日本画 音楽 リード楽器(ハーモニカ) 美術 日本画 美術 書道

●第12回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
27.8.26	スポーツ	賞	荒島 夕理	陸上競技
			井上 全修	卓球競技
	文 化	大賞	原田 裕成	自転車競技
			日本 雄也	水泳競技
		賞	丸本 大翔 隠崎 隆一 栗利郷太刀踊保存会 小野 耕石 河本 昭政 藤本 理恵子 森上 光月 守屋 剛志	ウエイトリフティング競技 美術 陶芸(備前焼) 無形民俗文化財 伝統芸能 美術 版画 美術 洋画 美術 日本画 美術 書道 音楽 ヴァイオリン

●第11回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
26.8.7	スポーツ	賞	小川 晃平	体操競技 新体操
			IPU環太平洋大学女子柔道部	柔道競技
	文 化	特別賞	吉備国際大学女子サッカー部	サッカー競技
			佐々木 美行 野上 竜太	スケート競技フィギュアの指導 自転車競技
		賞	小出 公大 須本 雅子 藤原 洋次郎 桃仙歌舞伎保存会	音楽 声楽 郷土史 美術 染織 美術 現代アート 無形民俗文化財 伝統芸能

●第10回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
25.10.24	スポーツ	大賞	荒木 絵里香	バレーボール競技
			福元 美穂 宮間 あや 清水 聡 山口 舞	サッカー競技 サッカー競技 ボクシング競技 バレーボール競技
	文 化	大賞	水戸岡 鋭治	美術デザイン
		特別賞	佐藤 常子 上田 久利 岡山/パッパカンタータ協会 草間 恭雄 鴻八幡宮祭りばやし保存会 難波 由城雄	美術 染織 美術 彫刻 音楽 合唱 美術テキスタイル 無形民俗文化財 伝統芸能 美術 写真

●第9回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
24.8.27	スポーツ	特別賞	福元 美穂 宮間 あや	サッカー競技 サッカー競技
		賞	奥村 諭志 勝又 雅弘 田中 太郎	自転車競技 陸上競技の振興 ウエイトリフティング競技
	文 化	特別賞	小谷 真三 森川 星葉	美術 工芸(ガラス) 美術 書道
		賞	池上 わかな 作元 朋子 柁木 和敬 桃太郎少年合唱団	美術 洋画 美術 陶芸 音楽 声楽 音楽 合唱

●第8回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
23.7.21	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	小野 陽平	テニス競技
			川口 敬二	自転車競技の指導
			興譲館高等学校陸上競技部	陸上競技
			永木 伸児	空手道競技
			中野 真奈美	サッカー競技
	藤田 健児	ボクシング競技		
文 化	大賞	重松 清	文芸 小説	
	賞	澤田 虚遊	美術 書道	
		宮内路保存会	無形民俗文化財 伝統芸能	
	特別賞	天満屋女子陸上競技部	陸上競技	

●第7回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
22.7.5	スポーツ	栄誉大賞	高橋 大輔	スケート競技 フィギュア
		大賞	新田 佳浩	スキー競技 クロスカントリー
		賞	井上 正 県立玉野光南高等学校陸上競技部 皇后杯第28回全国都道府県対抗女子駅伝 岡山県チーム	新体操競技の指導 陸上競技 陸上競技
	文 化	大賞	井手 康入 高田神社横野獅子舞保存会 諸星 美喜	美術 日本画 無形民俗文化財 伝統芸能 美術 日本画

●第6回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
21.7.27	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	岡山県作陽高等学校ゴルフ部 木村 禎宏 山陽女子高等学校 体操部 平林金屬男子ソフトボールクラブ	ゴルフ競技 車いすテニス競技 体操競技 ソフトボール競技
	文 化	大賞	高原 洋一	美術 洋画 版画
		賞	大島の華踊り保存会 片山 康之	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 彫刻

事業の記録

●第5回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
20.7.29	スポーツ	大賞	天満屋女子陸上競技部	陸上競技
		賞	興立新見高等学校ソフトボール部	ソフトボール競技
			興立新見高等学校軟式野球部	軟式野球競技
	文 化	大賞	福元 美穂	サッカー競技 GK
			宮間 あや	サッカー競技 MF
		賞	該当者なし	美術 日本画
			井手 康人	美術 洋画
			小川 尊一	無形民俗文化財 伝統芸能
			神代郷土民謡保存会	音楽 吹奏楽
			津山市立北陵中学校吹奏楽部	美術 書道
			明誠学院高等学校書道部	

●第4回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
19.7.24	スポーツ	大賞	該当者なし	ハンドボール競技の指導
		賞	麻生 薫	サッカー競技
			岡山県作陽高等学校サッカー部	サッカー競技
	文 化	大賞	岡山湯郷Belle	新体操競技の指導
			長田 京大	ウエトリフティング競技の指導
		賞	牧野 吉伸	工芸 漆芸
			山口 松太	天文学
			多胡 昭彦	美術 彫刻
			田丸 稔	工芸 陶芸
			宮尾 昌宏	

●第3回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
18.7.21	スポーツ	大賞	高橋 大輔	スケート競技フィギュア
		賞	樺村 正明	ソフトテニス競技の指導
			吉川 興幸	レスリング競技の指導
文 化	大賞	あさの あつこ	森政 芳寿	陸上競技の指導
			川島 基	文芸 児童文学
		賞	難波 滋	音楽 ピアノ
	特別賞		福石神楽団	美術 洋画
			岡山県剣道連盟	無形民俗文化財 伝統芸能
			岡山県山岳連盟	山岳競技
			岡山シーガルズ	バレーボール競技
			関西高等学校ボート部	ボート競技

●第2回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
17.8.3	スポーツ	大賞	水鳥 寿恵	体操競技
		賞	石本 直樹	ベンチプレス競技
			諸見里 しのぶ	ゴルフ競技
文 化	大賞	横山 純子	横山 純子	陸上競技の指導
			小川 洋子	文芸 小説
		賞	石田 宗之	美術 洋画
			はやし田植え保存会	無形民俗文化財 伝統芸能
			濱坂 渉	美術 彫刻

●第1回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月 日	区 分	賞	氏 名	種 別
16.12.14	スポーツ	大賞	武富 豊	陸上競技の指導
		賞	土井 美智江	水泳競技(マスターズ)
			藤原 佳市	体操競技の指導
文 化	大賞	高橋 秀	柳井 清志	ソフトボール競技の指導
			栗井春日歌舞伎保存会	現代美術
		賞	岡山フィルハーモニック管弦楽団	無形民俗文化財 伝統芸能
			松本 和将	音楽 管弦楽
				音楽 ピアノ

3 イベントの記録(協賛を含む)

年度	区 分	イ ベ ント 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額
2020	スポーツ	マルセンススポーツ教室「フジアーン/岡山サッカー教室」 後援 岡山市 講師 脇谷誠、山崎有斗、田中宏昌コーチ等(フジアーン/岡山) (イコットニコット屋上フットサルコート)	R1.11.23	33	30	63 千円
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東見が丘マリンヒルズ GC) Vリーグ観戦チケット(岡山シーガルズホームゲーム)	R1.9.20 ~ R1.9.22	293	200組/400	現物寄贈
		・VS 日立リヴェール ・VS デンソーエアーリービース	R1.12.21 R1.12.22	192	各 50	225 千円
		協賛・名義後援 第 38 回山陽女子ロードレース(ハーフ、10Km) (山陽新聞社他 岡山市内)	R1.12.15	—	—	1,100 千円
		第 4 回おかやまスポーツフェスティバル	開催中止 (R2.3.8)	—	—	—
		マルセン文化教室 「第 7 回井手康人日本画教室」 後援 岡山県教育委員会、日本美術院 講師 井手康人(同人) 藤田和美(京友) (山陽新聞社・カルチャープラザ 作品展示 倉敷市立美術館)	R1.6.22	26	26	130 千円
2021	R1	講師 森川政典、岡崎翔太 (大原美術館本館、新見島館(仮称)、語らひ座大原本館 他)	R1.11.2	47	28	65 千円
		「第 8 回井手康人日本画教室」 後援 岡山県教育委員会、日本美術院 講師 井手康人(同人)	R1.12.22	30	30	138 千円
		(岡山県天神山文化プラザ 作品展示 天満屋岡山店・ICOTM/COT)				
		チケットプレゼント 第 74 回春の院展倉敷展(倉敷市立美術館)	R1.6.29 ~ 7.7	85	50	30 千円
		舞台「ペコロスの母に会いに行く」(岡山市民会館)	R1.10.2	151	15	現物寄贈
		岡山フィルハーモニック管弦楽団第 62 回定期演奏会 「ジャン・チャムル!」岡フィルと共演! (岡山シンフォニーホール)	R1.10.20	134	30	108 千円
2022	文 化	佐佐木樹×吉澤麻×coba コンサートツアー (岡山市民会館)	R1.12.9	240	15	105 千円
		再興第 104 回院展岡山展(天満屋岡山店・草川会館)	R2.1.2 ~ 1.15	334	140	105 千円
		第 33 回倉敷音楽祭「倉敷のウィルトゥーゾ vol.5」(倉敷芸文館)	開催中止 (R2.3.13)	70	予定 30	—
		同「AUNI クラシック・オーケストラ CONCERT2020」 〜THIS IS AUN!〜(倉敷芸文館)	開催中止 (R2.3.17)	74	予定 20	—
		岡山フィルハーモニック管弦楽団第 63 回定期演奏会 「日本の音楽界の将来を担う若手音楽家が岡山に集合!」 〜奇跡の瞬間を見逃すな!〜(岡山シンフォニーホール)	開催中止 (R2.3.22)	80	予定 30	—
		協賛 会場!「高校生コミック・イラストコンクール 2019」 (倉敷芸術科学大学 関係施設)	R1.6.1 ~ R2.3.31	—	—	100 千円
2023	スポーツ	「高橋秀・藤田桜・素敵なるたり」展(倉敷市立美術館)	R1.9.14 ~ 10.22	—	—	100 千円
		表町・街なか美術館 きらぼアート展(岡山市表町商店街一部)	R1.9.27 ~ 10.3	—	—	100 千円
		マルセンススポーツ教室「岡山リベッツの卓球教室」 後援 岡山市 講師 上田仁・三浦航平・有田洋巳選手、白神宏佑監督 (岡山リベッツ卓球スポーツ岡山店)	31.1.27	150	70 (午前・午後 各 35)	312 千円
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ(東見が丘マリンヒルズ GC) Vリーグ観戦チケット(岡山シーガルズホームゲーム)	30.9.14 ~ 30.9.16	293	200組/400名	現物寄贈
		・VS KOROBÉ アクアフェアリーズ ・VS トヨタ車体クインシース (ジップアリーナ岡山)	31.1.26 31.1.27	224	各 30	135 千円
		Vリーグ観戦チケット(岡山チベッツホームゲーム)	31.2.16 31.2.17	426	各 50	200 千円
2024	30	・VS KM 東京 ・VS TT 彩たま (岡山武道館)	30.12.23	—	—	1,080 千円
		協賛・後援 第 37 回山陽女子ロードレース大会 (山陽新聞社他 岡山市内)	31.3.3	—	—	—
		第 3 回おかやまスポーツフェスティバル(名義後援) (岡山県総合グラウンド、児島マリンプール)				
		岡山県文化連盟「おかやま文化芸術アソシエイツ」(共催) 〜おかやま子どもみらい塾 (大原美術館、倉敷市立東陽中学校)	31.1.10 31.1.15	—	25	—
		マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」 (倉敷市立美術館「春の院展会場」)				
		・社会人対象 (作品展示 倉敷市立美術館「春の院展会場」) ・中高生対象 (作品展示 天満屋岡山店・草川会館「院展会場」)	(社会人) 30.6.23 (中高生) 30.12.22	—	(社会人) 18 (中高生) 36	267 千円
2025	文 化	後援 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会 日本美術院「地域連携教育プログラム」 講師 井手康人(同人) 藤田和美(京友)				
		beyond2020 認証事業 (岡山市北ふれあいセンター、山陽新聞社)				
		チケットプレゼント 第 73 回春の院展倉敷展(倉敷市立美術館)	30.6.27 ~ 30.7.8	122	50	30 千円
		ボラ美術館コレクション「モノ、モノ、モノからピカソまで」 (岡山県立美術館)	30.7.6 ~ 30.8.26	483	270	50 千円
		松本和将の世界音楽遺産下「ロマン編〜くらはをめぐって〜」 (ルネスホール)	30.11.4	131	30	90 千円
		ペーダーベージ「第九」演奏会(創立 15 周年記念事業) (岡山シンフォニーホール)	30.12.9	198	30	108 千円
2026	文 化	再興第 103 回院展岡山展(天満屋岡山店・草川会館)	31.1.2 ~ 31.1.14	569	250	90 千円
		秀後基金留学賞の 10 年(岡山県立美術館)	31.1.18 ~ 31.2.24	70	50	25 千円

事業の記録

年度	区 分	イ ベ ン ト 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額	
30	文 化	倉敷音楽祭「人形浄瑠璃 ～文楽～ (倉敷市芸文館)	31.3.8	124	30	81 千円	
		同「倉敷のヴィルトゥオーゾ Vol.4 3大ピアノリオを聞く」 (倉敷市芸文館)	31.3.17	90	30	54 千円	
		協賛・後援 おかやま子どもみらい塾 (協賛) (大原美術館・倉敷市立黒崎中学校) 倉敷「高校生コミック・イラストコンクール 2018」(名義後援) (倉敷芸術科学大学及び関係施設)	31.1.10 31.1.15 30.6.1～31.3.31	—	—	100 千円	
	共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2018」(関成通提供) 助成団体活動状況報告 20 団体	30.11.19～30.12.12	—	—	—	
		スポーツ	マルセンスポーツ教室「岡山シーガルズのバレーボール教室」 後援 岡山市 講師 川畑愛希選手 嶋崎結恵選手 神田千絵コーチ (万成病院体育館 (Mホール))	29.8.6	30	26	107 千円
			チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ (東児が丘マリンヒルズ GC)	29.9.15～29.9.17	315	200組 400名	現物寄贈
協賛 第 27 回全日本古式軟式野球大会岡山大会 (岡山県演習校武蔵野連盟 倉敷市運動公園(他 7 会場))	29.10.28～29.10.31		—	—	100 千円		
第 36 回山陽女子ロードレース大会 (山陽新聞社他 岡山市内)	29.12.23		—	—	1,080 千円		
岡山県文化連盟「おかやま文化芸術アソシエイツ」(共催) (旧文化のついで) 文化芸術交流実験室 (倉敷市立美術館「春の院展会場」)	30.1.8		—	35	100 千円		
マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」 ・社会人対象 (作品展示 倉敷市立美術館「春の院展会場」) ・中高生対象 (作品展示 天満屋岡山山店華川会館「院展会場」) 後援 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会 日本美術院「地域連携教育プログラム」 講師 井手康人 (同人) 藤田和美 (院友)	(社会人) 29.6.11 (中高生) 29.12.24		—	(社会人) 23 (中高生) 27	199 千円		
29	文 化	beyond2020 認証事業 (岡山県生涯学習センター美術教室) マルセン文化教室「白井洋輔氏とともに岡山学校と津田永忠の筆跡を巡る研修会」 講師 白井洋輔 (備前ミュージアム館長) (和気倉田家墓所 鏡の州 関谷学校 田原井屋 石の懸橋 等) チケットプレゼント 第 72 回春の院展倉敷展 (倉敷市立美術館) 川島基ピアノリサイタル (岡山県立美術館ホール) 再興第 102 回院展岡山展 (天満屋岡山山店華川会館) 備中温泉太鼓 (総社市民会館) 第 32 回倉敷音楽祭「倉敷のヴィルトゥオーゾ Vol.3」 ～倉敷ゆかりの若手プレーヤーによる室内楽コンサート～ (倉敷芸文館)	29.10.28	38	30	172 千円	
		29.6.28～29.7.9	30	30	18 千円		
		29.9.9	10	10	30 千円		
		30.1.2～30.1.14	222	150	90 千円		
		30.2.8	59	10	25 千円		
		30.3.18	120	30	54 千円		
		29.5.24～29.6.25	—	—	300 千円		
		29.6.29～29.9.3	—	—	300 千円		
		29.10.1	—	—	150 千円		
		29.11.19	—	—	100 千円		
		29.12.16～29.12.24	—	—	100 千円		
		共 通	RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2017」(関成通提供) 助成団体活動状況報告 20 団体	29.10.16～29.11.8	—	—	—
スポーツ	マルセンソフトテニス教室 主管 岡山県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部 後援 岡山県ソフトテニス連盟 講師 大庭彩加 (山陽新聞倉敷支社) 杉本 曜 (職員) 深澤昭恵・森原可奈 (東芝姫路所屬) (岡山県総合グラウンド内、南テニスコート)		28.6.18 28.6.26	—	18 日 4 校 33 名 26 日 5 校 35 名	265 千円	
	チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ (東児が丘マリンヒルズ GC)		28.9.16～18	410	200組 400名	現物寄贈	
	協賛 第 2 回岡山県武道フェスタ (岡山県武道団体連合会、岡山武道館(他)) 第 35 回山陽女子ロードレース大会 (岡山県体育協会 山陽新聞社他、岡山市内)	28.12.4	—	—	200 千円		
	28.12.23	—	—	1,080 千円			
	29.3.26～29.4.1	—	—	100 千円			
	28	文 化	岡山県文化連盟・文化講演会 (共催) 「文化のついで」 「書本研岡山でスワウングする」4 張パンジーの世界 (天神山文化プラザホール) マルセン文化教室「井手康人の日本画教室」 ・社会人対象 (作品展示 倉敷市立美術館「春の院展会場」) ・高校生対象 (作品展示 天満屋岡山山店華川会館「院展会場」) 後援 岡山県教育委員会 日本美術院「地域連携教育プログラム」 講師 井手康人 (同人) 藤田和美 (院友)	28.6.3 28.12.23	—	(社会人) 24 名 (高校生) 25 名	297 千円

年度	区 分	イ ベ ン ト 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額		
28	文 化	チケットプレゼント 川島基ピアノリサイタル (ルネスホール)	28.5.1	79組 152 名	20 組 40 名	120 千円		
		チケットプレゼント 第 71 回春の院展倉敷展 (倉敷市立美術館)	28.6.29～7.10	120 名	30 名	現物寄附		
		チケットプレゼント マイ・ハート in さん太 (山陽新聞社さん太ホール)	28.8.24	203 名	100 名	現物寄附		
		チケットプレゼント 種まく旅人～夢のつぎ木～ (ロケ地：赤磐市他、上映：県下 6 映画館)	28.10.22～	381 組 761 名	100 組 200 名	200 千円		
		チケットプレゼント 再興第 101 回院展岡山会場 50 回記念展 (天満屋華川会館)	29.1.2～15	334 名	100 名	60 千円		
		チケットプレゼント 第 31 回倉敷音楽祭 倉敷のヴィルトゥオーゾ Vol.2 室内楽コンサート (倉敷芸文館)	29.3.18	143 名	30 名	54 千円		
		協賛 倉敷!「高校生コミック・イラストコンクール 2016」 (倉敷芸術科学大学 倉敷市立美術館)	28.6.1～29.3.31	—	—	100 千円		
		岡山県演習校武蔵野連盟 50 周年を祝して ～岡山と共に 50 年をそして街へ～ (岡山県演習校武蔵野連盟 岡山シンフォニーホール)	28.10.10	—	—	300 千円		
		岡山美術特別企画「梅輪 昌村光 金重有邦 隠崎曜一展」 (岡山県立美術館)	29.2.1～29.3.12	—	—	300 千円		
		RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2016」(関成通提供) 助成団体活動状況報告 21 団体	28.11.14～12.27	—	—	—		
		27	ス ポー ツ	高体連ソフトテニス専門部強化事業に職員派遣 マルセン子どもスケート教室 共催 倉敷市スケート協会フィギュア部 後援 県教育委員会、倉敷市教育委員会、岡山県スケート連盟 ゲストスケーター無良崇人選手 (日本スケート特別強化選手 (洋菓子のヒロ タ所属)) (ヘルスピア倉敷アイスアリーナ)	27.8.10～11 27.8.17～18	—	17 日 49 名 18 日 39 名	—
				28.3.19	—	—	378 千円	
チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ (東児が丘マリンヒルズ GC) 第 34 回山陽女子ロードレース大会 (協賛) (岡山市内)	27.9.19～20 27.12.23			40 530	40 200組 400 名	現物寄贈 1,080 千円		
岡山県文化連盟・文化講演会「文化のついで」(名義共催) 「アート、文字、おかやま～私を育んだ岡山の文化」 講師 原田マハ (作家)	27.9.17			—	—	—		
チケットプレゼント フェルメール光の王国展 (岡山市シエミュージアム)	27.4.14～5.6			307	40組 80 名	—		
倉敷!高校生コミック・イラストコンクール 2015 (協賛) 主催 倉敷芸術科学大学 (倉敷市倉敷公民館 1F 展示室)	27.6.1～27.8.31 27.12.2～6			416 点 (168 校)	入選 52 点 うち 20 点受賞 (大賞等)	100 千円		
岡山カルチャーゾーン 30 周年記念事業 (協賛) 「岡山カルチャーゾーンの魅力」 (岡山県立博物館及び後援会を中心としたカルチャーゾーン一帯) 岡山県文化連盟設立 10 周年記念×天神山文化プラザ開館 10 周年記念 (協賛) 「オペラファンタジー ヘルゼンとグレート」 (岡山県天神山文化プラザホール)	27.7.16～9.13 27.10.31 27.11.1			—	入館者数 6,779 名 参加者 1 回 236 名 2 回 240 名	100 千円 —		
チケットプレゼント 再興第 100 回院展岡山展 (天満屋岡山山店 6 階華川会館)	28.1.2～1.17			458	100組 200 名	現物寄贈		
チケットプレゼント 倉敷のヴィルトゥオーゾ ピアノクインテット (倉敷市芸文館)	28.3.12			126	50組 100 名	180 千円		
RSK ラジオ「おかやま元気応援団! 2015」(関成通提供) 助成団体活動状況報告 21 団体	27.9.28～12.14			—	—	—		
26	ス ポー ツ			第 10 回岡山中央スポーツ少年団ソフトボール交歓大会 (協賛) 第 30 回全国選抜フットサル大会 (協賛) (きびアリーナ)	26.4.13 26.9.13～15	—	—	10 千円 100 千円
				マルセンバスケットボール教室 (共催) 主管 県中学生バスケット連盟 (倉敷市立東中学校体育館)	26.9.15	—	42	240 千円
		チケットプレゼント 山陽新聞レディースカップ (東児が丘マリンヒルズ GC) プロバスケットボール試合 (共催) 「高松ファイブアローズ対大阪エヴェッサ」 (備前市総合運動公園体育館)	26.9.20～21 26.11.2	278	190	現物寄贈 378 千円		
		チケットプレゼント (同) 第 33 回山陽女子ロードレース大会 (協賛) (岡山市内)	26.11.16	11	8	現物寄贈 1,080 千円		
		第 10 回沙美アートフェスト (協賛) (倉敷市沙美海岸、倉敷市立美術館)	26.5.10	—	—	100 千円		
		親子で学ぶくまのや水族館 「オーストラリアの海とクレイ・バリアリーフの世界」 (天満屋岡山山店 6 階華川会館)	26.8.6～25	188	50組 100 名	—		
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のついで」(共催) 講演「音楽と私」講師 川島基氏 (東京音楽大学ピアノ科専任講師) 聞き手 西田多江 (フリーアナウンサー) (ルネスホール)	26.8.7	—	—	150 千円		
		文 化	チケットプレゼント 親子で学ぶくまのや水族館 「オーストラリアの海とクレイ・バリアリーフの世界」 (天満屋岡山山店 6 階華川会館)	26.8.6～25	188	50組 100 名	—	
			岡山県文化連盟・文化講演会「文化のついで」(共催) 講演「音楽と私」講師 川島基氏 (東京音楽大学ピアノ科専任講師) 聞き手 西田多江 (フリーアナウンサー) (ルネスホール)	26.8.7	—	—	150 千円	
			チケットプレゼント 親子で学ぶくまのや水族館 「オーストラリアの海とクレイ・バリアリーフの世界」 (天満屋岡山山店 6 階華川会館)	26.8.6～25	188	50組 100 名	—	
			岡山県文化連盟・文化講演会「文化のついで」(共催) 講演「音楽と私」講師 川島基氏 (東京音楽大学ピアノ科専任講師) 聞き手 西田多江 (フリーアナウンサー) (ルネスホール)	26.8.7	—	—	150 千円	
			チケットプレゼント 親子で学ぶくまのや水族館 「オーストラリアの海とクレイ・バリアリーフの世界」 (天満屋岡山山店 6 階華川会館)	26.8.6～25	188	50組 100 名	—	

事業の記録

年度	区 分	イ ベ ント 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額
26	文 化	マルセン親子写真教室 (主催) 講師 難波由城雄氏 (第10回マルセン文化賞受賞者) (龍の森グリーンシャワー・の森)	26.9.27	10組	10組 22名	88 千円
		池田綱政公 300 年遠隔記念事業 (協賛) 特別展 護国山曹源寺〜岡山藩主池田氏菩提寺の至宝と文化〜 (岡山県立博物館)	26.10.10 ~ 11.16	—	—	300 千円
		倉魂! 高校生コミック・イラストコンクール 2014 (協賛) 主催 倉敷芸術科学大学 (倉敷公民館)	26.11.26 ~ 30	—	—	100 千円
		チケットプレゼント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第 46 回定期演奏会 (岡山シンフォニーホール)	27.1.24	250 通	20組 40名	190 千円
		倉敷タニエル・オストの花と心 ―西洋と日本の架橋― (名義協賛) (倉敷大原家本邸/有隣荘 (旧別邸) 大原美術館工芸・東洋館中庭)	27.3.1 ~ 4	—	—	名義
		チケットプレゼント 同上	27.3.1 ~ 4	575 通	100名	現物寄贈
		チケットプレゼント トーマヤンソン生誕 100 年記念「ムーミン展」 (岡山県立美術館)	27.3.20 ~ 4.19	779 通	150組 300名	現物寄贈
		共 通				
		RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2014」(構成提供) 助成団体活動状況報告 22 団体	26.9.3 ~ 11.19	—	—	—
		厚生労働大臣杯争奪第 63 回全日本実業柔道団体対抗大会 (協賛) (岡山県体育館 松本館アリーナ)	25.6.15 ~ 16	—	—	100 千円
25	スポーツ	第 36 回岡山県少年剣道大会 (後援) (倉敷市玉島の森体育館)	25.6.22	—	—	名義
		チケットプレゼント 山陽新製レディースカップ。(東児が丘マリンヒルズ GC)	25.9.21 ~ 22	258 通	145名	現物寄贈
		チケットプレゼント プロバスケケットボール試合 (共催) 「高松ファイブアローズ対島根スリノモマジック」 (備前市総合運動公園体育館)	25.10.27	43 通	20名	350 千円
		「第 32 回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	25.12.23	—	—	1,050 千円
		成通グループ・(公財) マルセジスボート・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (マスカットスタジアム)	26.3.2	—	96名	—
		チケットプレゼント 東北楽天ゴールデンイーグルス主催プロ野球オープン戦 (マスカットスタジアム)	26.3.4 / 3.5 / 3.7 / 3.8 / 3.9	1,203 通	50名	現物寄贈
		「第 9 回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸)	25.5.11	—	—	100 千円
		チケットプレゼント 大野雄二&ルパンティック・ファイバルパンティック・ジャズナイト (岡山シンフォニーホール)	25.5.17	265 通	25組 50名	175 千円
		The Wave Quartet マジック・リザリタル/マスタークラス (協賛) (公社) 岡山県文化通鑑:文化講演会「文化のつどい」(共催) 講演 奥作尚徳氏 1300 年〜津山洋学・知は海より来る〜 臼井洋輔氏 (元 吉備国際大学教授) (天神山文化プラザホール) 講演「日本から始まった柔道文化」吉原穂彦氏 (環太平洋大学教授 (柔道家・ 医学博士)) (天神山文化プラザホール)	25.7.17	—	—	100 千円
		独立 10 周年記念「表彰者色紙展/自然と遊ぶ・写真展」(主催) 第 1 回〜第 9 回までのスポーツ・文化大賞等の揮毫色紙及び信朝寛監事の 写真展示 (天神山文化プラザ)	25.8.13 ~ 8.18	—	—	883 千円
24	スポーツ	書籍プレゼント 「卑弥呼は近江か出雲か吉備か」 倉魂! 高校生コミック・イラストコンクール 2013 (協賛) (天満屋倉敷店 6 月)	~ 26.2.8	179 通	28名	現物寄贈
		如月 水産画展 (後援) (さん太ギャラリー)	25.10.6 ~ 7	—	—	100 千円
		書籍プレゼント みんなて学ぶ「ふるさとと美作のあゆみ」 チケットプレゼント 「レオナルド・ファンタとパリ」1913-1931」展 (岡山県美術館)	~ 26.2.8	71 通	10名	15 千円
		チケットプレゼント 山陽新製レディースカップ。(東児が丘マリンヒルズ GC)	26.2.21 ~ 4.6	336 通	150組 300名	現物寄贈
		共 通				
		RSKラジオ「おかやま元気応援団! 2013」((株) 成通提供) 助成団体活動状況報告 28 団体	25.10.28 ~ 12.17	—	—	—
		チケットプレゼント 山陽新製レディースカップ。(東児が丘マリンヒルズ GC)	24.9.15 ~ 16	153 通	120枚	200 千円
		第 2 回航空フェア 2012 (協賛) フライトシュミレーターによる航空教室 (岡山県岡市飛行場)	24.11.11	106	106名	420 千円
		成通グループ・(財)マルセジスボート・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (マスカットスタジアム)	24.11.11	29 チーム	200名	—
		「第 31 回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	24.12.23	—	—	1,050 千円

年度	区 分	イ ベ ント 名	実 施 日	応募数	決定数	金 額
24	文 化	「第 8 回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	25.5.12	50 点	50	100 千円
		チケットプレゼント マルク・シャガール展 - 夢をめぐる追想 - (岡山県立美術館)	24.7.13 ~ 8.26	479 通	204名	現物寄附
		チケットプレゼント 前橋トキウアイオリンリサイタル (岡山シンフォニーホール)	24.10.5	275 通	50名	175 千円
		倉魂! 高校生コミック・イラストコンクール 2012 (協賛) (加計美術館)	24.10.6 ~ 28	300 点	100点	100 千円
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「福祉と文化」講師 江草安彦氏 (旭川荘) 演奏 / 桃太郎少年合唱団 (ルネスホール)	24.10.6 24.11.17	—	—	300 千円
		「本物の心に残る音楽を」講師 守屋剛志 (ヴァイオリニスト) 演奏 / ピア ノ中山恵氏 (天神山文化プラザ)	24.10.7 ~ 8	—	—	40 千円
		マーチング・イン・オカヤマ (協賛) (岡山駅前・さん太広場・表町商店街・石山公園・岡山市総合文化体育館)	24.10.7 ~ 8	—	—	40 千円
		チケットプレゼント 人形浄瑠璃「文楽」(倉敷芸文館)	25.3.9 昼・夜の部	174 通	20名	80 千円
		製作国県建 1300 年記念事業 (協賛) (第 30 回山陽女子ロードレース大会) (協賛)	25.3.22	—	—	現物寄附
		成通グループ・(財)マルセジスボート・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (倉敷マスカット球場)	23.12.23	—	—	1,050 千円
23	スポーツ	チケットプレゼント プロ野球オープン戦 (倉敷マスカット球場)	24.3.10	305	46	—
		「第 7 回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	24.3.11	581	46	—
		「第 7 回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	23.5.14	—	—	100 千円
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「伝統文化を学びなおす・和魂ルネサンス」 講師 横田敦一氏 (環太平洋大学長) (ルネスホール) 「表現と未来」 講師 坂手洋二氏 (劇作家・演出家)。(天神山文化プラザホール)	23.8.22、8.24	—	—	300 千円
		「第 52 回山陽女子ロードレース大会」(協賛) (岡山市内)	H23.10.9 ~ 10	—	—	40 千円
		成通グループ・(公財) マルセジスボート・文化振興財団 PRESENTS 東北楽天ゴールデンイーグルス野球教室 (マスカットスタジアム)	23.11.3	2,326	1,700名	2,178 千円
		「第 9 回沙美アートフェスタ」(協賛) (倉敷市沙美海岸)	23.11.19 ~ 20	—	—	100 千円
		「男子第 49 回女子第 40 回 西日本学生ハンドボール選手権大会」(協賛) (松本館アリーナ 岡山県総合文化体育館)	22.7.10 ~ 14	—	—	20 千円
		「川島基と松本和幸のバービリアンデュオリサイタル」 (岡山シンフォニーホール)	22.8.5	—	92名	288 千円
		岡山県民俗芸能大会 (協賛) (倉敷市民文化ホール)	22.12.23	—	—	1,050 千円
22	文 化	「第 6 回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	23.3.13	410	100名	250 千円
		岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成) 「音楽と私」ピアニスト 松本 和将氏 「音楽と私」メソソプラノ 伊藤 宏恵氏 「彫刻の見た方」彫刻家 蛸田 二郎氏	22.5.15	—	—	100 千円
		「第 29 回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	22.8.25、8.28、9.1	—	—	470 千円
		「第 29 回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	22.9.26	—	30名	105 千円
		「第 29 回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	23.2.25 ~ 4.10	527	300名	45 千円
		「第 29 回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山市内)	23.3.19・20・22・23	35	40名	—
		「第 6 回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	21.8.7 ~ 9	—	—	20 千円
		「第 28 回全国マーズン」(スケートボール交歓大会岡山大会) (協賛) (松本館アリーナ 岡山県総合文化体育館)	21.8.22 ~ 23	—	—	100 千円
		「第 28 回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山県マスカット球場)	21.9.25 ~ 27	—	—	100 千円
		「第 28 回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山県マスカット球場)	21.10.18	—	85名	370 千円
21	スポーツ	「第 28 回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山県マスカット球場)	21.12.23	—	—	1,050 千円
		「第 5 回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	21.5.16	—	—	100 千円
		「第 5 回沙美アートフェスタ」(協賛) (沙美海岸 展覧会 倉敷市立美術館)	21.6.5 ~ 7.12	187 通	200名	166 千円
		「朝鮮王朝の絵画と日本」 (岡山県立美術館)	21.7.25 ~ 29 募集	206 通	150名	152 千円
		「絶はかき」(写真コンテスト入賞作品)	21.9.1 ~ 10.31 募集	25 点	7点	254 千円
		「スポーツ・文化の振興」論文募集・入賞者表彰式				
		「第 28 回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山県マスカット球場)	21.8.7 ~ 9	—	—	20 千円
		「第 28 回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山県マスカット球場)	21.8.22 ~ 23	—	—	100 千円
		「第 28 回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山県マスカット球場)	21.9.25 ~ 27	—	—	100 千円
		「第 28 回山陽女子ロードレース」(協賛) (岡山県マスカット球場)	21.10.18	—	85名	370 千円

令和元年度 収支計算書(損益計算ベース) (平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

科 目	令和元年度			令和元年度			増減	備 考
	公益目的事業	管理事業	予算額	公益目的事業	管理事業	未払金等		
1 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	10,027	0	10,027	10,027			10,027	0
定期預金利息	10,027	0	10,027	10,027			10,027	0
受取寄付金	18,600,000	2,400,000	21,000,000	18,600,000	2,400,000		21,000,000	0
受取寄付金	18,600,000	2,400,000	21,000,000	18,600,000	2,400,000		21,000,000	0
雑収益	116	0	116	116	0		116	0
受取利息	116	0	116	116	0		116	0
雑収入	0	0	0	0	0		0	0
経常収益計	18,610,143	2,400,000	21,010,143	18,610,143	2,400,000	0	21,010,143	0
(2) 経常費用								
事業費	18,610,116	0	18,610,116	17,410,680	0	1,120,635	18,531,315	78,801
委員等報酬	124,000		124,000	123,744			123,744	256
給料手当	4,083,000		4,083,000	3,832,595		247,105	4,079,700	3,300
法定福利費	723,000		723,000	585,527		93,329	678,856	44,144
福利厚生費	11,000		11,000	10,824		0	10,824	176
荷造運賃	164,000		164,000	94,998		68,628	163,626	374
賃借料	3,511,000		3,511,000	3,510,899		0	3,510,899	101
交際接待費	51,000		51,000	45,811		0	45,811	5,189
旅費交通費	232,000		232,000	218,793		12,278	231,071	929
通信費	392,000		392,000	377,591		14,129	391,720	280
消耗品費	776,000		776,000	722,857		52,345	775,202	798
租税公課	0		0	0		0	0	0
修繕費	0		0	0		0	0	0
助成金	1,830,000		1,830,000	1,829,766		0	1,829,766	234
褒賞金	3,600,000		3,600,000	3,600,000		0	3,600,000	0
謝金 (イベント事業費)	782,000		782,000	781,552		0	781,552	448
新聞図書費	79,000		79,000	71,538		3,500	75,038	3,962
印刷費	708,000		708,000	78,230		629,321	707,551	449
後援費	1,400,000		1,400,000	1,400,000		0	1,400,000	0
保険料	10,000		10,000	9,380		0	9,380	620
雑費	134,116		134,116	116,575		0	116,575	17,541
管理費	2,400,000		2,400,000	2,248,712		51,583	2,300,295	99,705
役員報酬	454,000		454,000	453,728		0	453,728	272
顧問報酬	12,000		12,000	11,137		0	11,137	863
退職慰労金	100,000		100,000	100,000		0	100,000	0
給料手当	454,000		454,000	425,843		27,457	453,300	700
法定福利費	86,000		86,000	65,058		10,370	75,428	10,572
福利厚生費	2,000		2,000	1,203		0	1,203	797
荷造運賃	2,000		2,000	0		0	0	2,000
賃借料	369,000		369,000	368,489		0	368,489	511
諸会費	105,000		105,000	94,240		0	94,240	10,760
交際接待費	568,000		568,000	567,832		0	567,832	168
旅費交通費	25,000		25,000	22,824		1,365	24,189	811
通信費	78,000		78,000	59,209		3,970	63,179	14,821
消耗品費	33,000		33,000	29,519		2,052	31,571	1,429
新聞図書費	10,000		10,000	6,853		0	6,853	3,147
租税公課	3,000		3,000	2,060		0	2,060	940
修繕費	0		0	0		0	0	0
謝金 (イベント事業費)	0		0	0		0	0	0
印刷費	11,000		11,000	372		6,369	6,741	4,259
雑費	88,000		88,000	40,345		0	40,345	47,655
経常費用計	18,610,116	2,400,000	21,010,116	18,531,315 (1,120,635)	2,300,295 (51,583)	— (1,172,218)	20,831,610	78,801
当期経常増減額	27	0	27	78,828	99,705	—	178,533	未払額再掲
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
(2) 経常外費用								
当期経常外増減額								
当期一般正味財産増減額	27	0	27	78,828	99,705	—	178,533	
一般正味財産期首残高	△ 96,337	1,691,612	1,595,275	△ 96,337	1,691,612		1,595,275	
一般正味財産期末残高	△ 96,310	1,691,612	1,595,302	△ 17,509	1,791,317	—	1,773,808	
Ⅱ 指定正味財産の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	—	0	
指定正味財産期首残額	100,000,000	0	100,000,000	100,000,000	0	—	100,000,000	
指定正味財産期末残額	100,000,000	0	100,000,000	100,000,000	0	—	100,000,000	
Ⅲ 正味財産期末残高	99,903,690	1,691,612	101,595,302	99,982,491	1,791,317	—	101,773,808	

DATA ● 資料

貸借対照表 (令和2年3月31日現在)

団のご発展、また、本顕彰および助成事業が実り多き成果を収められることを
祈念し、お祝いのことばとさせていただきます。

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流 動 資 産			
現金預金	2,737,774	2,486,012	251,762
前払金	0	0	0
貯蔵品	0	0	0
未収金	49,740	49,781	△ 41
仮払金	0	0	0
前払費用	190,998	302,886	△ 111,888
未収消費税	0	0	0
立替金	0	0	0
流動資産合計	2,978,512	2,838,679	139,833
2 固 定 資 産			
(1)基本財産			
基本財産	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2)特定資産			
特定預金	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
ソフトウェア	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	100,000,000	100,000,000	0
資産合計	102,978,512	102,838,679	139,833
II 負債の部			
1 流 動 負 債			
未払金	1,172,218	1,233,981	△ 61,763
預り金	32,486	9,423	23,063
未払消費税等	0	0	0
未払法人税及び住民税	0	0	0
流動負債合計	1,204,704	1,243,404	△ 38,700
2 固 定 負 債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,204,704	1,243,404	△ 38,700
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	1,773,808	1,595,275	178,533
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	101,773,808	101,595,275	178,533
負債及び正味財産合計	102,978,512	102,838,679	139,833

